

PF-RW104

5MP対応PoE給電方式 4ch ネットワークビデオレコーダ

設置運用マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、5MP対応 PoE給電方式 4ch ネットワークビデオレコーダ PF-RW104の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用の前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承ください。
- Network Video Recorder(ネットワークビデオレコーダ)を初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けてください。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けてください。
- 本機は業務用として電磁波適合した装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 本製品は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店にお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示



注意

感電の危険があるので開けない
てください。



**注意:感電の危険があるのでカバーを取り外さないでください。
修理は資格のあるサービス担当者へ依頼してください。**



この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。



この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

| 記号 | 規格 | タイプ |
|----|-------------------|-----|
| | IEC60417, No.5032 | 交流 |
| | IEC60417, No.5031 | 直流 |

本文での表記

| アイコン | 表記 | 意味 |
|---|----|---------------------------------------|
|  | 注意 | 本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。 |
|  | 参考 | 本機を使用する上で役立つ内容です。 |

本文章の内容は予告なく変更する場合があります。

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容は製品本体の設定メニューから「システム - 製品情報」の画面でご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。

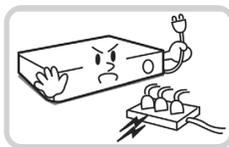
本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

安全上の注意事項

製品を正しく使うことで使用者の安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するための内容であるため、必ずお守りください。

警告 この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について



設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



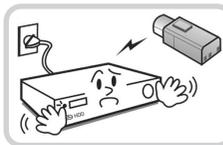
本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



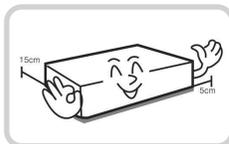
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。

火災、感電、けがの原因となります。



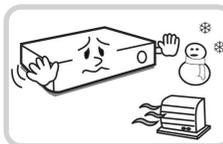
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近すぎるとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔をあけて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



0°C~40°Cの環境でご使用ください。温度が高すぎる場所や低いところ、湿度の高いところには設置しないでください。直射日光が当たる場所や暖房器具など熱を発する機器の近くには設置しないでください。通風孔は塞がないでください。

火災の原因となります。

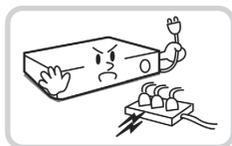


湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。

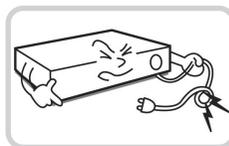
- ・ 工事は販売店に依頼してください。工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊を防ぐためにも、必ず販売店にご相談ください。

電源について



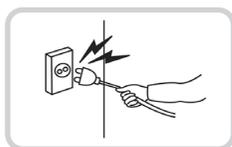
本機の使用電源はAC100Vです。専用のコンセントに接続して、消費電力の大きな機器（コピー機、電熱器具、冷蔵庫など）と一緒に使用しないでください。必要な場合に電源をOFFにできるよう、ブレーカーやコンセントがすぐわかるようにしておいてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。電源ケーブルを切ったり、プラグを改造してはいけません。電源プラグにホコリがたまると、湿気で絶縁不良になります。プラグのホコリ等は定期的に取りってください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

火災、感電の恐れがあります。

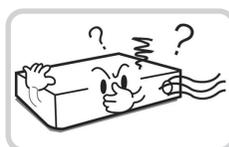
- ・アース（接地）は確実に行ってください。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。
- ・本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

使用について



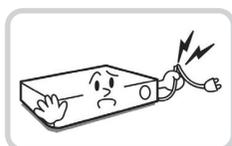
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店までお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。

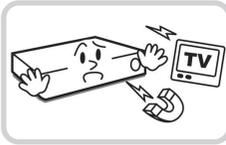


湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。

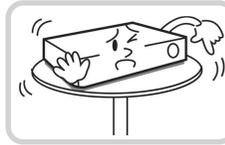
⚠ 注意 指示事項を守らない場合、軽症を負ったり、製品が破損したりする可能性があります。

設置について



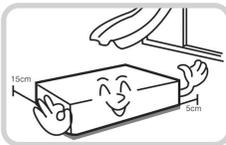
強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波、振動の届かないところに設置してください。



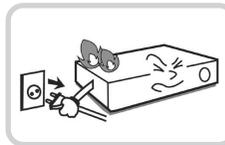
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



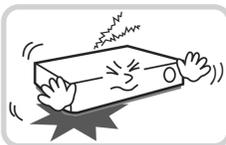
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

周辺の環境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上あけて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



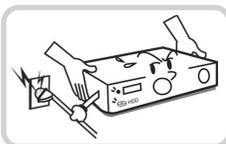
製品の上に重いものを置かないでください。

故障の原因となります。



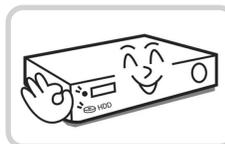
通風のためにあいている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。

故障の原因となります。



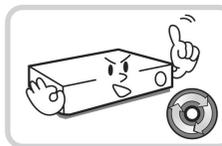
製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

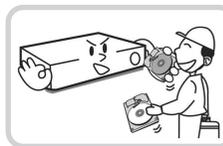


製品前面のHDD LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。

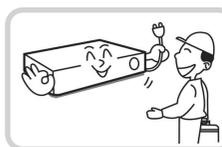
HDD LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



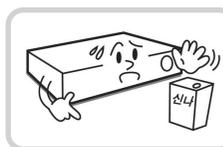
HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。



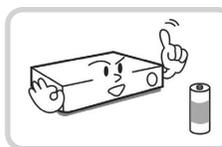
とくにシステム稼働中は、振動や衝撃を与えないでください。デジタルレコーダはハードディスクドライブに録画データを保存しています。ハードディスクはわずか数ミクロンの隙間をディスクが高速で回転しており、システム稼働中に振動や衝撃を与えるとハードディスクが損傷し、デジタルレコーダが起動しなくなったり、録画データが読み出せなくなったりします。内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。約30,000時間(この時間は部品の性能を保証するものではありません)を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。



お手入れは、安全のため電源をOFFしてから乾いた布や、薄めた中性洗剤等を染み込ませ固く絞った布で軽く拭いてください。シンナー、有機溶剤は塗装がはげたり変形したりするため、使用しないでください。



時計や設定の保存のため内蔵バックアップ電池を使用しています。全く通電を行わない場合は、3年目安あるいは必要に応じて交換をお勧めします。

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 第1章—製品紹介..... | 10 |
| 製品の特徴 | 10 |
| 付属品の確認 | 11 |
| 各部分の名称および機能 | 12 |
| 前面パネル..... | 12 |
| 後面パネル..... | 13 |
| 後面パネルの接続..... | 13 |
| 第2章—設置..... | 15 |
| パスワード設定 | 15 |
| ウィザード実行 | 15 |
| カメラ登録 | 18 |
| カメラ登録モードの実行..... | 18 |
| スキャンボタン（カメラ検索ボタン）..... | 19 |
| カメラ表示メニュー..... | 20 |
| カメラリストエリア..... | 21 |
| 映像出力エリア..... | 22 |
| 適用 / キャンセルボタン..... | 23 |
| ログイン | 23 |
| パスワード探し | 24 |
| リアルタイム監視 | 25 |
| リアルタイム監視メニュー..... | 25 |
| コンテキストメニューの実行..... | 29 |
| 拡大機能..... | 29 |
| PTZ制御..... | 29 |
| イベントモニタリング機能..... | 30 |
| カメラ非表示機能..... | 30 |
| 画面グループの編集機能..... | 30 |
| ビデオ録画 | 30 |
| 緊急録画..... | 30 |
| 保存された映像の再生 | 31 |
| 全チャンネル再生..... | 31 |
| コンテキストメニュー..... | 31 |
| 第3章—設定..... | 32 |
| メニューの使い方 | 32 |
| スクリーンキーボードによる文字列入力..... | 32 |
| テーブルで全列の値を同時に設定する..... | 32 |
| マウスの使用..... | 32 |
| システム設定 | 33 |
| 一般..... | 33 |
| 日付/時刻 | 34 |
| 使用者..... | 35 |
| セキュリティ..... | 37 |
| HDD | 37 |
| 製品情報..... | 38 |

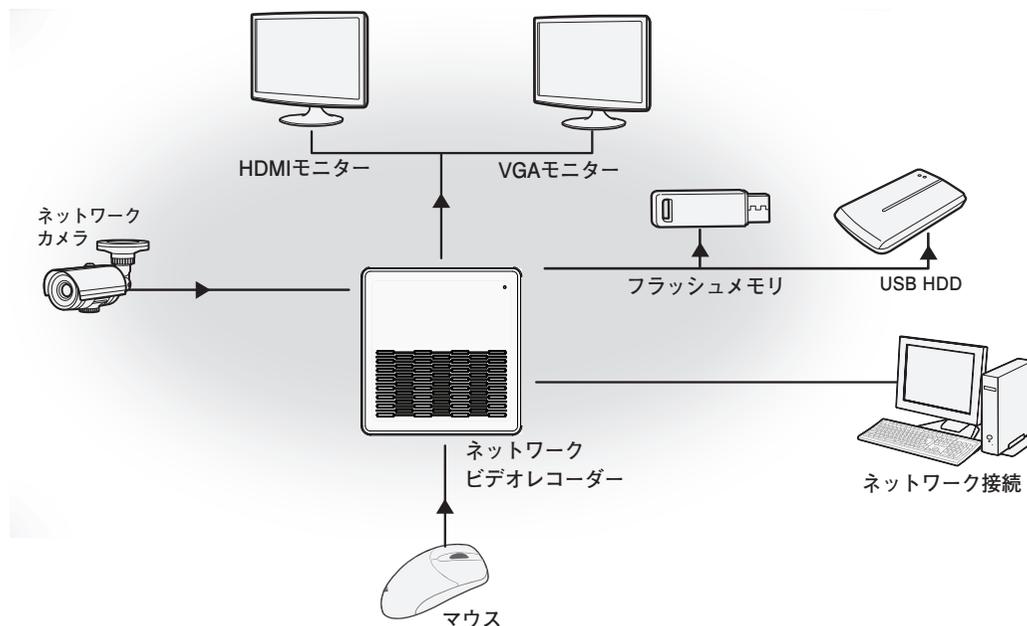
| | |
|----------------------|-----------|
| 録画設定 | 38 |
| 一般 | 38 |
| スケジュール | 39 |
| プライベート | 40 |
| イベント設定 | 40 |
| システムイベント | 40 |
| カメラシステム | 42 |
| カメラシステム：映像信号なし | 42 |
| カメラシステム：録画失敗 | 42 |
| カメラシステム：PIR | 42 |
| ビデオ分析 | 43 |
| ビデオ分析：モーション | 43 |
| ビデオ分析：トリップゾーン | 44 |
| ビデオ分析：タンパーリング | 45 |
| ビデオ分析：自動追跡 | 46 |
| ネットワーク設定 | 47 |
| 一般 | 47 |
| WAN | 47 |
| VIN | 48 |
| UCN | 49 |
| ディスプレイ設定 | 50 |
| OSD | 50 |
| メインモニター | 50 |
| 通知設定 | 51 |
| スケジュール | 51 |
| コールバック | 52 |
| メール | 52 |
| Push | 53 |
| HTTP | 54 |
| カメラ設定 | 55 |
| 登録 | 55 |
| 一般 | 57 |
| 高機能設定 | 57 |
| ストリーム I | 62 |
| ストリーム II | 63 |
| メンテナンス | 64 |
| 第4章—検索 | 65 |
| タイムラプス検索 | 65 |
| 検索メニュー | 66 |
| タイムラプス検索メニュー | 67 |
| コンテキストメニュー | 69 |
| イベントログ検索 | 69 |
| 重複した時間の映像検索 | 70 |
| 第5章—付録 | 71 |
| システムログの種類 | 71 |
| エラーコードの種類 | 72 |
| 故障時の確認事項 | 74 |
| 製品の仕様 | 75 |

第1章—製品紹介

製品の特徴

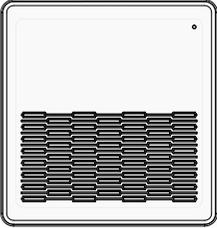
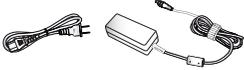
本機はネットワークカメラまたはビデオエンコーダ（以下、ネットワークカメラまたはカメラという）の映像監視、録画及び再生機能を持つネットワークビデオレコーダ（以下、NVRという）で、次のような特徴があります。

- 4チャンネルのリアルタイム監視に対応
- H.265に対応
- UHDの解像度に対応
- 最大 8MP 120ips録画
- 1 HDMI・1 VGA OUT映像出力
- 早くて簡単な検索モードを提供（タイムラプス、イベントログ）
- リアルタイム監視、録画、再生、遠隔転送機能のマルチタスク可能
- ユーザー中心のグラフィックユーザーインターフェース（GUI）と多国語を提供
- さまざまな録画モード（タイムラプス、イベント、プリイベント、緊急）
- PoE(Power over Ethernet)対応のカメラ接続
- USB2.0端子×2（マウス、S/Wアップデートおよび再生映像の保存）
- 内部 4GB HDDに対応
- HDD状態などシステムの状況をシステムイベントで知らせる機能(HDD状態はS.M.A.R.T.プロトコル使用)



付属品の確認

製品の梱包を開けて、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

| | | |
|--|--|--|
|  |  |  |
| <p>ネットワークビデオレコーダ</p> | <p>電源ケーブル/電源アダプタ</p> | <p>安全上の注意事項</p> |
|  |  | |
| <p>保証書</p> | <p>マウス</p> | |



本資料を含め、下記の各種取扱説明書およびソフトウェアは、WEBサイトから入手可能です。
購入先までお問い合わせください。

【取扱説明書】設置運用マニュアル(pf-rw104_im·om_verX.XX.pdf)

【取扱説明書】簡易マニュアル(pf-rw104_qg_verX.XX.pdf)

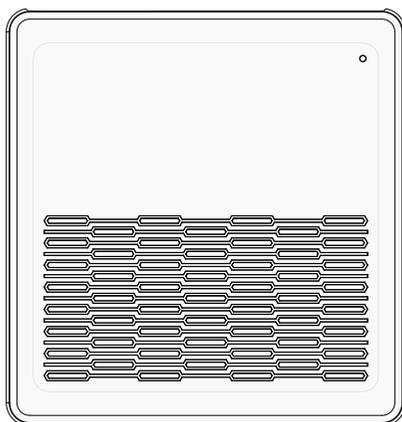
【取扱説明書】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf)

【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS)

※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。

各部分の名称および機能

前面パネル

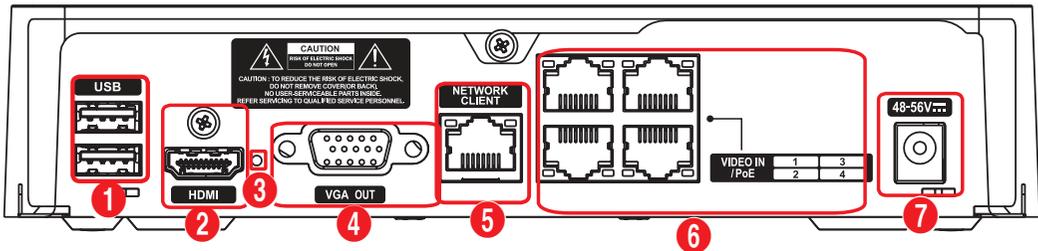


- ・家庭用PCのように、USBマウスを利用して各設定ウィンドウやメニューに移動することができます。
- ・システム設定を円滑に行うため、USBマウスの使用をお勧めします。

LED

- ・  HDD LED：ハードディスクに映像を保存したり、保存された映像を検索したりするときに点滅します。

後面パネル



| | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|--------------|
| ① | USB端子 | ② | HDMI出力端子 | ③ | ファクトリリセットボタン |
| ④ | VGA出力端子 | ⑤ | ネットワーク端子 | ⑥ | ビデオ入力・PoE端子 |
| ⑦ | 電源入力端子 | ⑧ | | ⑨ | |

後面パネルの接続

ファクトリーリセット



装置後面のオーディオ出力端子の左側にあるファクトリーリセットスイッチは、NVRを工場出荷時の初期設定に戻すときにのみご使用ください。

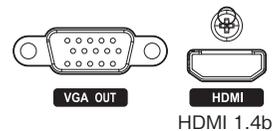
-  ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したNVRのすべての設定値が失われます。
-  ファクトリーリセットを行うためには、まっすぐ伸ばしたクリップが必要です。

- 1 NVRの電源をオフしてください。
- 2 まっすぐ伸ばしたクリップをファクトリーリセットスイッチの穴に差し込んでスイッチを押したままNVRの電源を接続してください。
- 3 NVRの内部ブザーが鳴ってからスイッチを外すと、Factory Resetのシグナルを認識します。

- 4 シグナルが認識されると、改めてブザーが鳴り、NVRのすべての設定は工場出荷時の初期設定の状態に戻り、再起動します。

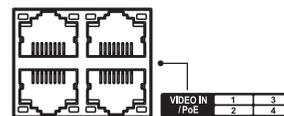
モニタ接続

VGA OUT、HDMI端子にモニタを接続することができます。



ビデオ接続

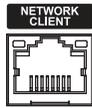
・ Video In/PoE (ビデオ入力/PoE) 端子



RJ-45ジャックまたはビデオエンコーダを使用するCat5e/Cat6ケーブルを利用してネットワークカメラまたはビデオエンコーダを接続します。

-  接続されたネットワークにPoE電源が供給されると右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

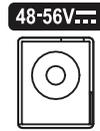
ネットワーク接続



本NVRはイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができます。NVRコネクタにRJ-45ジャックを使用するCat5e/Cat6ケーブルを接続します。NVRは遠隔地から監視、検索、制御およびソフトウェアのアップデートができます。イーサネット接続設定に関する内容は、イーサネット接続設定に関する内容は、本取扱説明書の**第3章－設定－ネットワーク設定**を参照ください。

接続されたネットワークが1000 Base-Tである場合は右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

電源コードの接続

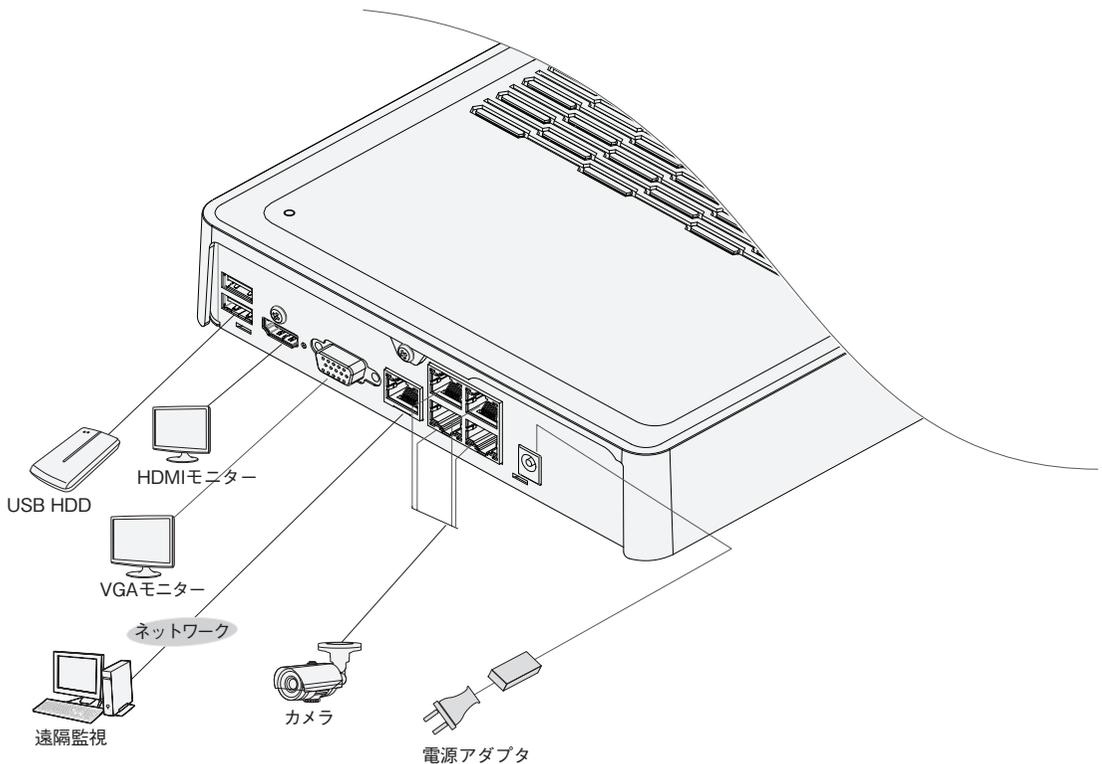


本NVRは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。アダプタのコネクタ(48V )をNVRに接続した後、アダプタのAC電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

本NVRはPoE(Power over Ethernet)に対応するネットワークカメラを接続するため、PSE(Power Source Equipment)を実装しています。

- 電源コードはきれいに配線し、足に引っかかったり、家具などによって被覆が剥がれないように注意してください。また、電源コードは絨毯やカーペットの下を通さないでください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

後面パネルの接続図



第2章—設置

パスワード設定

- 1 システムを初めて稼働する場合、adminユーザーアカウントのパスワード設定が求められます。



- ✓ 工場出荷初期パスワードはありません。
- ✓ 初回ログイン時に運用パスワード登録が必ず必要です。パスワードなしでシステムを使用することはできません。
- 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- 電子メールアドレスとUPRファイルはパスワード紛失の際に確認用の情報として使用することがあります。当該情報を正確に入力しなかったり任意の情報が入力された場合、パスワードを探せない場合もあります。
- 電子メールアドレスの設定あるいはUPRのエクスポートいずれかを行わないと、決定ボタンが押せません。

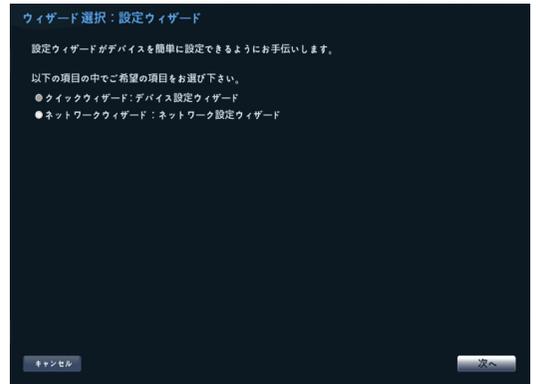
- ✓ パスワードは、8～16文字で英大文字、英小文字、数字、特殊記号の内、3種類以上の文字の組み合わせが必要です。
(例: jA38v2c4, a1##sb32)
- 次の文字列は使用できません。
 - *IDと同じ文字列
 - *3文字以上の連続した数字が含まれる文字列
(例: 123, 321)
 - *3文字以上の連続した英字が含まれる文字列
(例: abc, cba, aBC)
 - *3文字以上の文字が繰り返されている文字列
(例: 111, aaa, aAA)

ウィザード実行

設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

- ✓ 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行できます。

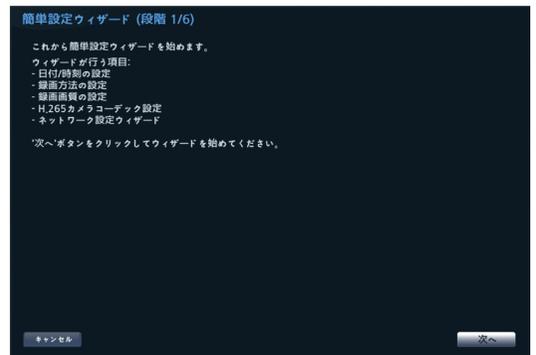
- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、次ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



- ✓ ウィザード画面全体でキャンセルを選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

クイック設定ウィザード

- 1 クイック設定ウィザードを始めます。

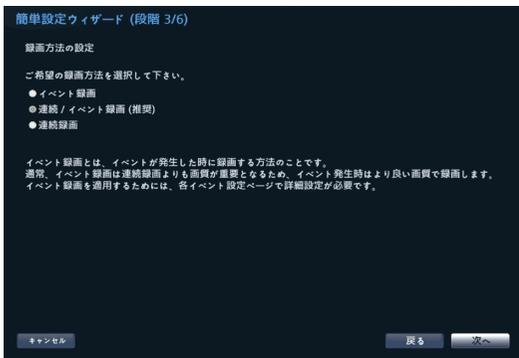


2 日付や時刻を設定した後、次へをクリックしてください。

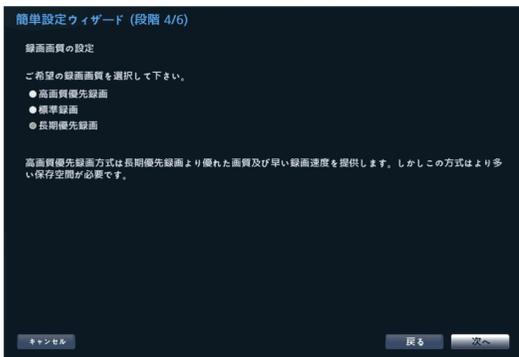


- 変更された日付/時刻の設定値は、次へをクリックすると適用されます。
- 日付/時刻設定に関する詳細は、**第3章 設定** **—システム設定—日付/時刻**を参照ください。

3 設定したい録画方式を選択した後、次へをクリックしてください。



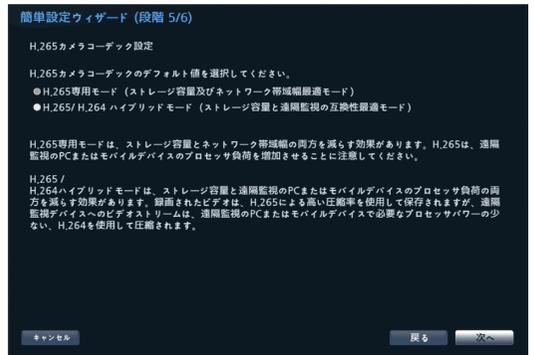
4 設定したい録画画質を選択した後、次へをクリックしてください。



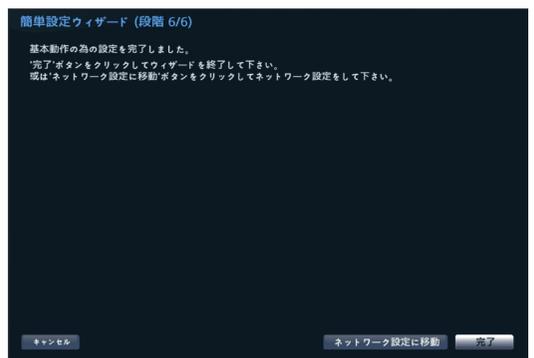
- 高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。
- 選択した録画画質によってビデオプロファイルが決まります。
 - 高画質優先録画：最高画質
 - 標準録画：高画質
 - 長時間優先録画：標準画質
- 選択した録画方式および画質によるビデオプロファイルは次の通りです。

| | 高画質優先録画 | 標準録画 | 長時間優先録画 |
|-----------|-----------------------|---------------------|-------------------|
| イベント録画 | 最高画質 | 高画質 | 標準画質 |
| 連続/イベント録画 | 最高画質(連続) / 最高画質(イベント) | 高画質(連続) / 高画質(イベント) | 標準(連続) / 標準(イベント) |
| 連続録画 | 最高画質 | 高画質 | 標準画質 |

5 コーデック方式設定



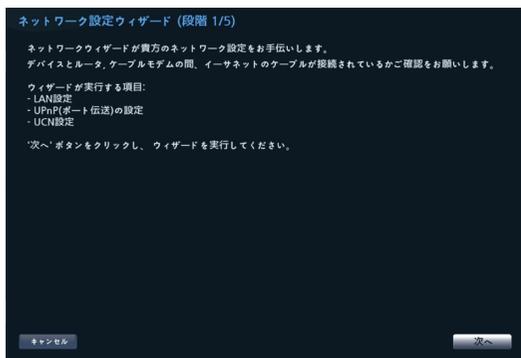
6 完了をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。



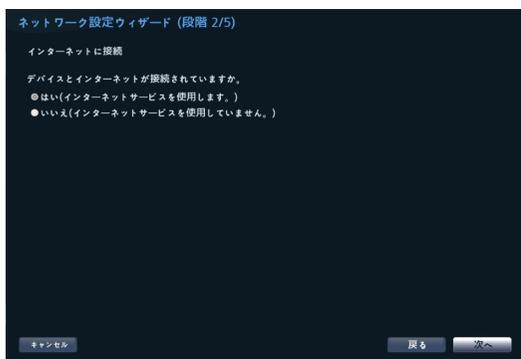
ネットワークウィザード

- クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定**へをクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることができます。

1 ネットワーク設定ウィザードを始めます。



2 システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、**次**をクリックしてください。



- インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

3 ネットワーク構成を選択し、**次**をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかを確認できます。



- ・テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- ・DHCPサーバのあるネットワークにNVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
- ・**UPnPを支援するデバイスがありません。**というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ(あるいはNAT)がUPnP機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

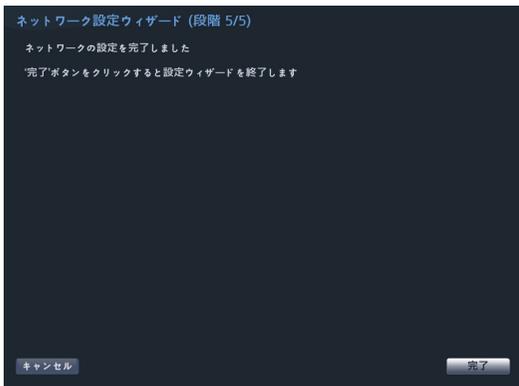
4 UCNサーバに登録されるNVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。





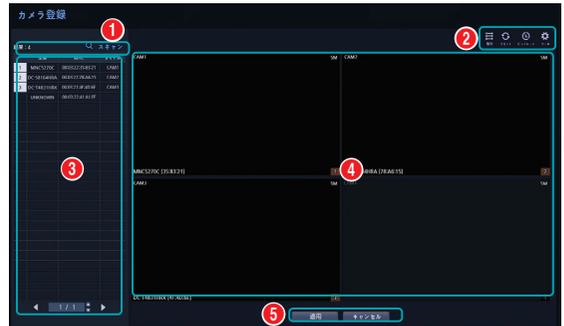
- UCNサーバに登録されるデバイスの名前は、NVRの固有の名前です。JSS遠隔監視システムなどのClientからNVRのデバイス名でシステムに簡単に接続することができます。確認後正常に登録されたら、終了が活性化されます。
- NVRの名前を入力しなかったりUCNサーバにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- ユーザーのネットワーク環境によってはUCNサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、[ネットワーク設定](#)を参照ください。

5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



カメラ登録モードの実行

リアルタイム監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、**カメラ登録**をクリックしてください。



| | |
|---|-------------|
| 1 | カメラ検索ボタン |
| 2 | カメラ表示メニュー |
| 3 | カメラリストエリア |
| 4 | 映像出力エリア |
| 5 | 適用/キャンセルボタン |



遠隔プログラムからもNVRにカメラを登録することができます。詳しい内容は[第3章－カメラ設定－登録](#)を参照ください。

カメラ登録

セットアップウィザードが完了すると、リアルタイム監視モード画面が表示されます。マウスを右クリックし、[カメラ登録]を選択すると、NVRに接続されているカメラをスキャンして登録あるいは削除ができるカメラ登録モードに入ることができます。



NVRにカメラを登録して使用する場合、カメラ登録時にカメラ設定の大部分はNVR規定値に変更されます。登録するカメラは、初期化してあると安心です。カメラ登録後のカメラ設定変更はNVRから行い、PCなどからカメラに直接接続して設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。

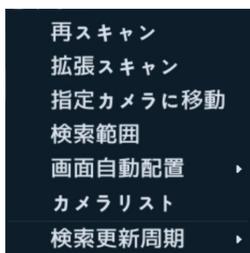


本製品は、当社JSSプロトコル、JSS2プロトコルのカメラ接続運用を基本としています。

■ スキャンボタン(カメラ検索ボタン)

自動で検出できなかったカメラも、いろいろな方法で検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。



再スキャン

自動的に検出できなかったJSS2プロトコルのカメラを検出することができます。

拡張スキャン

自動スキャンに対応しないカメラを手動で検出します。

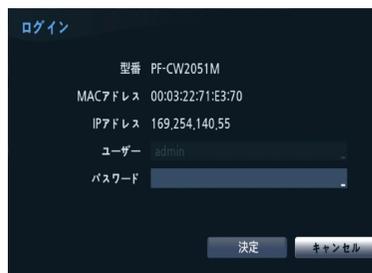


- ・ **プロトコル**：検索したいカメラのプロトコルを選択してください。
- ・ **モード**：検索モードを選択してください。
 - **自動検索 (LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。**自動検索 (LAN)** モードで検索出来ないカメラは**IPアドレスで検索**してみてください。
 - **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2つ以上のカメラを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク接続の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

1 スキャンボタンを押して検索してください。

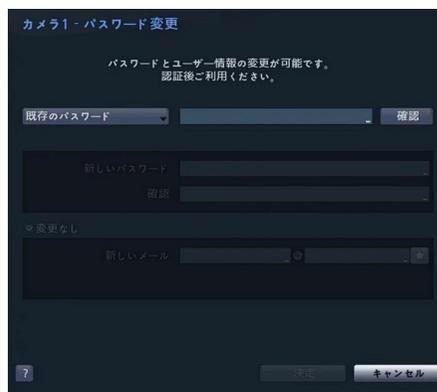
- VIDEO IN端子に接続されているカメラのみ検索・登録できます。

- 2 検索されたカメラをリストから選択した後、**カメラ追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。
- 3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。



カメラのパスワード再設定

カメラのパスワード変更及び検索機能に対応するJSSおよびJSS2プロトコルカメラの場合、最初にカメラを登録するときカメラのパスワードを設定する必要があります。なお電子メール情報を求められる機種の場合には、カメラパスワード変更や検索のために使用されます。



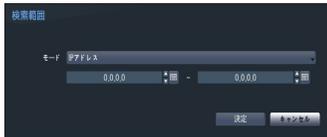
指定カメラに移動

カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラに自動的に移動します。



検索範囲

検索範囲の設定によってカメラリストエリアに存在するカメラをフィルタリングすることができます。



画面自動配置

検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するとき 사용됩니다。

カメラリスト

カメラの情報ファイル (.csv) を利用し、ユーザーがより簡単にカメラを登録することができます。



- **保存** : カメラリストにあるカメラ情報を.csvファイルの形式でUSBまたはNetFSに保存します。
- **読み込** : カメラ情報が保存されている.csvファイルを読み込みます。 .csvファイルがユーザーが直接修正することができます。

- csvファイルで、A列はカメラの番号、B列はカメラのMACアドレス、C列はエンコーダーのビデオ入力ポートを表しています。
- 当該機能を使用する前には、必ずスキャンを行わなければなりません。登録したいカメラがスキャンリストに存在しない場合、カメラを登録することはできません。
- 他社のカメラ、当社の一部のカメラは本機能に対応していません。

検索更新周期

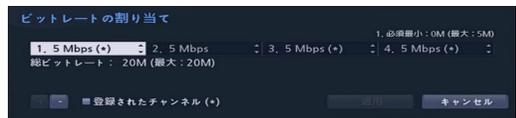
カメラ検索の更新周期を設定します。更新周期を短く設定すると、カメラ検索結果のアップデートがより頻繁に更新されます。更新周期を長く設定すると、広いネットワーク網でのカメラ検索が可能です。

カメラ表示メニュー

- **整列** ボタン : 映像出力エリアに表示されるカメラの画面をビデオイン端子に接続されたカメラの位置の順に再整列します。
- **リセット** ボタン : カメラ映像出力画面およびカメラリストエリアに表記されているすべてのカメラを初期化して再スキャンします。

- **リセット** を選択する場合、リストから検索されたすべてのデバイス情報が削除されます。

- **ビットレート** ボタン : 各チャンネルの性能割り当てを変更することができる窓は下記のように現れます。



NVR全体の性能を各チャンネルに割り当てすることができます。カメラ登録時にチャンネルに割り当てられた性能までストリームの設定が可能です。従って、カメラに性能を十分に割り当てしないとQuality、IPS、解像度が低く設定される可能性があります。カメラが登録されたチャンネルの場合、現在のストリーム設定より小さいビットレートは割り当てできません。左下にある+-を選択すると、ビットレートを一括変更できます。登録されているチャンネル(*)を選択すると、登録されているカメラのビットレートのみ変更できます。

- ・ **ツール**  ボタン：カメラ関連の動作を実行することができるネットワークカメラのツールウィンドウが表示され、カメラの認証、画面配置およびプロトコルを変更することができます。

- 1 実行する**動作**を選択してください。
- 2 カメラをリストから選択した後、**適用**ボタンを押してください。



- JSS2プロトコルカメラの場合、カメラ登録モードで自動的に認識されます。JSSプロトコルカメラの場合は自動で認識されません。

JSS2プロトコルカメラの場合は、設定変更しないことを推奨します。

プロトコルを変更するとカメラが再起動され、そのカメラをNVRに登録して使用することができます。詳しい設定方法は当該ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

カメラリストエリア



- ① **画面位置/登録可否**：映像出力エリアにあるカメラの画面位置が表示されます。登録可能なカメラは青い背景で表示され、すでに登録済みのカメラは灰色の背景で表示されます。他のNVRに登録されているカメラは黒い背景で表示されます。
- ② **型番**：カメラのモデル名が表示されます。
- ③ **MAC**：カメラのMAC情報のうち、後ろ12桁の数字が表示されます。
- ④ **タイトル**：カメラの名前が表示されます。映像出力エリアに変更した名前が適用されます。

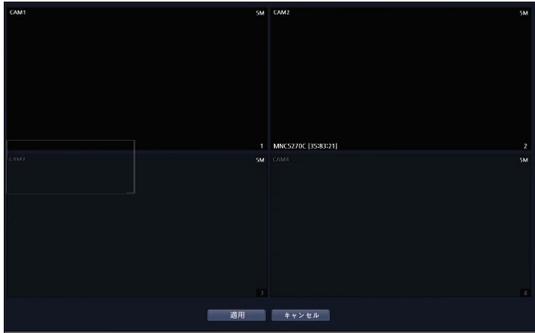
カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

- ・ **カメラ追加 / 削除**：リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- ・ **認証**：カメラにログインするための情報を入力します。自動で検出され、パスワード不要なカメラは省略されます。
- ・ **情報**：カメラの情報（製品名、バージョン、MACアドレス、IPアドレスなど）と接続ポートを表示します。

映像出力エリア

映像出力エリアでマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示を切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして表示位置を調整することができます。



カメラ画面の構成



① カメラタイトル

カメラのタイトルを表示します。カメラのタイトルのところでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのタイトルを編集することができます。



② MACアドレス

NVRに登録されていないカメラの場合、カメラのモデル名とMACアドレスが表示されます。

③ 画面の位置/登録情報

NVRに登録されていないカメラの場合、オレンジ色が点滅します。

- NVRにすでに登録されているカメラは、画面の下端に情報が表示されず、**画面の位置/登録情報**の背景が黒色で表示されます。
- 他のNVRに登録されているカメラは**画面位置/登録情報**の背景色がオレンジ色に固定され、画面は灰色に表示されます。

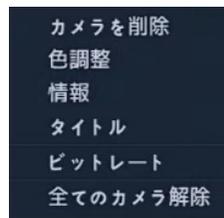
④ ビットレートの割り当て

チャンネルに割り当てられた性能(ビットレート)を表示します。表示されたところでマウスの左ボタンをクリックしてビットレートを変更することができます。



実行メニュー

映像出力エリアでマウスの右クリックボタンをクリックすると、実行できるメニューが表示されます。

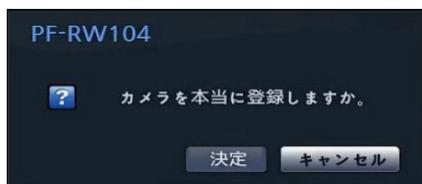


- **カメラを削除**：登録されているカメラを削除します。
- **デバイスを削除**：登録されているエンコーダーを削除します。
- **色調整**：カメラの色合いを調節します。
- **情報**：カメラの基本情報を表示します。
- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **ビットレート**：チャンネルごとの割り当てビットレートを変更することができます。
- **全てのカメラ解除**：登録されているカメラをすべて削除します。

- ✓ カメラの追加や削除は、マウスのドラッグ&ドロップ機能で行うことができます。

適用 / キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、**適用**ボタンを押してください。適用ボタンを押すと、次のようなメッセージウィンドウが表示され、実行するか、しないかを選択できます。



キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。

- ✓ 他のNVRに登録されているカメラは登録できません。

- ✓ マウスでパスワード入力項目の右側にある  ボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、[第3章－設定－メニューの使い方－スクリーンキーボードによる文字列入力](#)を参照ください。

- 3 ログアウトするには、マウスを右クリックしてログアウトをクリックしてください。



ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- 1 監視モードで、マウスを右クリックして**ログイン**をクリックしてください。

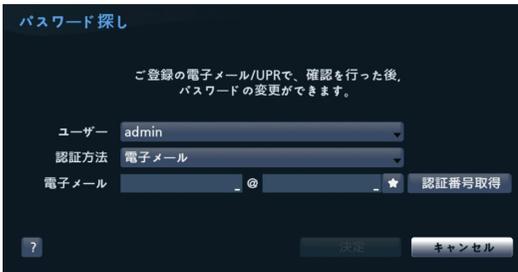


- 2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。

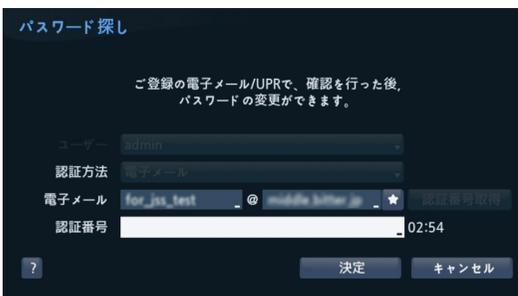
パスワード探し

パスワードを忘れた場合パスワード探しボタンを押すと、新しいパスワードが設定できます。

- 1 ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールアドレスを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。UPR (User Password Reset) 認証方法を使う場合、UPR認証方法を選択してください。



- 2 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。

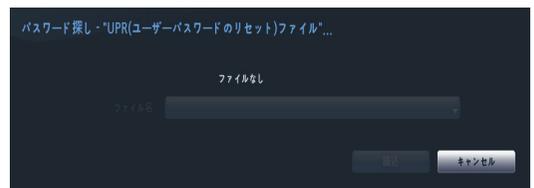


- ✓ 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールを利用して使用するためには、SSL/TLSに対応するメールサーバを使用できるように設定する必要があります。

- 3 UPR (User Password Reset) 認証を入力し、UPR認証ボタンを押してください。

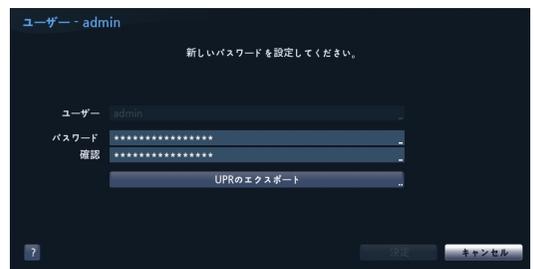


- 4 事前に保存したUPR (User Password Reset) ファイルを選択して読み込みボタンを押してください。



- ✓ UPR機能を使用するためには、事前にUPRファイルを保存しなければなりません。
- オフラインパスワード検索機能とは、事前に保存した一種の暗号化されたUPR (User Password Reset; 拡張子*.upr) ファイルを利用してパスワードを再設定できる機能です。
- ローカルにおいてUSBフラッシュドライブとして使用できますが遠隔からは使用できません。
- 同じ機器からエクスポートしたファイルのみ使用することができます。
- UPRファイルを無くした場合、NVRの当該アカウントのパスワードを変更すると無くしたUPRファイルは使えなくなります。

- 5 新しいパスワードを設定してください。左下の?ボタンを押すと表示される規則に従って設定してください。



リアルタイム監視

リアルタイム監視メニュー

リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面右端に近づけると、画面の右側にリアルタイム監視メニューが表示されます。各メニューの上でマウスのボタンを押すと、メニューを選択することができます。



| | | | | | | | |
|---|-------|----|--------|----|-----------------|----|--------------|
| 1 | レイアウト | 2 | ディスプレイ | 3 | 前画面グループ、次画面グループ | 4 | 検索モード |
| 5 | カメラ選択 | 6 | 自動切替 | 7 | フリーズ | 8 | 緊急録画 |
| 9 | 状態 | 10 | ウィザード | 11 | 設定 | 12 | ステータス情報ウィンドウ |

1 レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、3画面（Corridor Format）、4画面、6画面、8画面、9画面に切り替えます。

2 ディスプレー

- **OSD (On Screen Display) : OSD**を表示、非表示します。
- **比率維持**：カメラから出力される映像の縦横比を維持するかどうかを選択します。

3 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

4 検索モード

- **タイムラプス検索**：検索モード > タイムラプス検索を選択すると、保存されたデータを録画テーブルから検索または再生することができます。
- **イベントログ検索**：検索モード > イベントログ検索を選択すると、イベントログを検索し保存されたイベントを検索または再生することができます。

5 カメラ選択

選択したカメラを単一画面でみることができます。

6 自動切替

リアルタイム監視モードで  を選択すると他のチャンネルを連続的に示して自動切替モードに変わります。自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**  ボタンを押してください。自動切替中には、画面の左下のシステムステータス情報のところに  が表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニタの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。



- **フル切替**での動作中には、画面左下のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
 - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
 - 映像信号がない場合
 - ロックされたカメラの場合
 - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

7 フリーズ

画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。

8 緊急録画

緊急録画機能を使用/解除します。(設定で、緊急録画使用を有効にしている場合に使えます。)

9 状態

カメラ

全てのカメラのイベントの状態を確認することができます。イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



イベント項目

| | | | |
|---|---------|---|---------|
|  | モーション |  | トリップゾーン |
|  | タンパーリング |  | 映像信号なし |
|  | PIR |  | 自動追跡 |

イベント項目

| | |
|---|------|
|  | 録画失敗 |
|---|------|

システム

全てのシステムのイベントの状態を確認することができます。イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



- ・ **緊急録画**：現在緊急録画の使用状況によってイベント状態が表示されます。
- ・ **録画を確認**：この項目はシステム監視設定によってイベント状態が表示されます。詳しい内容は**第3章－設定－イベント設定－システムイベント**を参照ください。
- ・ **ディスクフル警告/ディスクフル**：HDDが上書きの状態ではない場合、システム監視設定で指定したディスクの割合に達したとき、更に100%になったときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は**第3章－設定－イベント設定－システムイベント**を参照ください。
- ・ **ディスク構成変更**：HDDを交換してNVRを再起動した時に表示されます。
- ・ **保存デバイスなし**：録画可能なHDDが存在しない場合に発生するイベントです。

HDD

各ディスクの状態を表示します。



・ ディスクエラー

| | |
|------------|---|
| 初期化されていません | 使用したことのないディスク |
| 良好 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 正常に動作しているディスク ・ HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される |
| エラー | <ul style="list-style-type: none"> ・ HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合 ・ システムイベント発生 |

・ 温度

| | |
|-----|--|
| N/A | 温度が感知できないディスク |
| 良好 | 正常な温度の場合は温度が表示される |
| 不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザーが設定した温度以上の場合 ・ システムイベント発生 |

・ S.M.A.R.T.

| | |
|-----|---|
| N/A | S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク |
| 良好 | S.M.A.R.T.状態が正常な場合 |
| 不良 | S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合 |

- 状態 > HDD**でディスクエラー、ディスク温度、S.M.A.R.T.情報を確認できます。

ネットワーク

ネットワーク全体の状態をリアルタイムで表示するメニューは、次の通りです。



表示される情報は、カメラ接続の有無、LANポートリンクの状態、電力使用量、接続されているクライアントの台数、ネットワーク情報の詳細な説明は次の通りです。

| | |
|------------------------------|--|
| <p>カメラ接続有無</p> | <p>カメラが接続されている場合には 、接続がされていない場合には で表示されます。イメージをクリックすると、カメラのチャンネル番号を確認することができます。NVRに接続されているデバイスのステータス情報が確認できます。</p> |
| <p>ネットワークスイッチ接続有無</p> | <p>LANポートにネットワークスイッチが装着されている場合には と表示され、接続されているカメラの総数も表示されます。イメージをクリックすると、カメラのチャンネル番号を確認することができます。NVRに接続されているデバイスのステータス情報が確認できます。</p> |
| <p>LANポートリンクの状態</p> | <p>接続されたカメラ、あるいはネットワークスイッチのない場合には 、接続されている場合には が表示されます。 1 Gbpsで接続された場合には 、10/100Mbpsに接続された場合には が表示されます。</p> |
| <p>電力使用量</p> | <p>NVRから電力が供給されている場合にはカメラアイコンの下に実際に使用されている電力量が表示され、電力消費量の合計は最上部に下記のように表示されます。</p> <p>PoE 電力消費量の合計: 0.0W (最大 120.0W)</p> <p>1～4ポートはPoE電源が供給されるポートであり、VIDEO IN Ext. (VIDEO IN Ext.) および NETWORK CLIENT (NETWORK CLIENT) ポートにはPoE電源が供給されません。</p> |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>接続されているクライアントの台数</p> | <p>クライアントがネットワークを使ってNVRに接続されているかどうか、接続されている場合何台のクライアントが接続されているかを表示します。 クライアントが接続される場合には 、接続されていない場合には で表示されます。</p> |
| <p>ネットワーク情報</p> | <p>現在ネットワークに接続されているか、接続中であるか、接続が解除されているか、エラーが発生しているかの情報を下図のような色で区分して表示します。</p> <div data-bbox="871 579 994 705" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>— 接続完了 - - - 接続中 — 接続終了 — 警告 — エラー</p> </div> <p>* (警告：ネットワークにスイッチを接続したとき、ネットワーク帯域幅が100Mbps以下の場合) * (エラー：ネットワークにスイッチを接続したとき、ネットワーク帯域幅が10Mbps以下の場合)</p> |

10 ウィザード

ウィザードを起動し、システム運営に必要な初期設定を簡単に行うことができます。

11 設定

設定メニューに入ることができます。

12 ステータス情報ウィンドウ

ステータス情報ウィンドウ

| | |
|------------|---|
| | <p>遠隔プログラムでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。</p> |
| | <p>映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。</p> |
| | <p>フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。</p> |
| | <p>自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。</p> |
| <p>1/4</p> | <p>全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。</p> |
| | <p>イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。</p> |
| | <p>HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。</p> |

コンテキストメニューの実行

監視モードで、マウス右ボタンを押すと、コンテキストメニューが表示されます。

- **PTZ**：PTZ制御機能が行えます。
- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **色調整**：色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あいが調整できます。
- **自主調整ビデオモード**：映像プリセットをナチュラル、鮮やかさ、ノイズ減少の中から選ぶことができます。
- **情報**：ネットワークカメラチャンネルを選択すると、選択したチャンネルに関するデバイス情報が確認できます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **カメラ登録**：カメラ登録モードを実行します。
- **検索**：検索モードに移ることができます。
- **設定**：設定モードに入ることができます。
- **ログイン／ログアウト**：ログインまたはログアウトができます。

拡大機能

マウス右クリックから、拡大を選択してください。マウス左ボタンを押したままドラッグすることで、拡大する位置を動かすことができます。マウス右クリックから映像の拡大率が選択できます。映像拡大機能を使用する場合、システムの左下のステータス表示ウィンドウに拡大 **Q** アイコンが表示されます。



- 全体画面モードでは、拡大するカメラを選択するとき現在の画面が自動的に選択されます。
- 拡大画面を終了するときは、マウス右クリックから画面拡大終了を選択します。

PTZ制御

監視モードでカメラを右クリックすると表示されるコンテキストメニューからPTZを選択すると、選択されたカメラのOSDウィンドウで **P** アイコンが点滅します。

マウスの左ボタンでドラッグして方向を移動することができます。

マウスのホイールで映像を拡大/縮小することができます。

PTZモードでマウスポインタを画面の下段に合わせて、PTZのコントロールボックスが現れます。



| | |
|--|--------------|
| | PTZカメラの移動 |
| | ズームイン/アウト |
| | 近距離/遠距離フォーカス |
| | しぼりを開く/閉じる |
| | 自動フォーカス実行 |
| | プリセット設定/移動 |
| | カメラのデバイスメニュー |

PTZプリセット設定

現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。

PTZプリセット移動

プリセット番号を選択して、その番号に保存された位置にPTZカメラをすぐに移動させることができます。

詳細設定

PTZモードでマウス右ボタンを押すと、下記のようなPTZの詳細メニューが表示されます。**速度**、**オートパン**など、そのPTZカメラが対応する拡張機能が使用できます。また、ポイント移動を利用し、ユーザーがマウスでクリックした地点にPTZカメラを移動させる機能を使用することができます。そのPTZカメラが対応しない機能は非活性化されます。



- PTZカメラを調整するためには、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- PTZモードを終了するためには、PTZ詳細メニューの**PTZ終了**を選択します。
- PTZカメラをNVRで使うためにはカメラが対応するPTZプロトコルを正しく設定する必要があります。
- PTZのコントロールボックスをドラッグして位置を変えることができます。
- アイコンをクリックするとPTZのコントロールボックスが消えます。

イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、左下のシステムステータスエリアに  アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**ディスプレイ設定>メインモニターでイベントモニタリング**を設定してください。イベントモニタリングは、**出力時間**にて設定した時間だけその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**出力時間**が終了する前に画面をマウスでクリックすると、通常監視画面に切り替わります。

カメラ非表示機能

ユーザーがログインしていないか、**隠しカメラビュー**の権限のないユーザーでログインした場合、指定したカメラは表示されないように制限します。

カメラ設定>一般で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは

通常通りに表示されます。

- **隠し2**：指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。

- 隠しカメラビュー**権限を有するユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていてもカメラ非表示機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視および検索モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

- 1 画面分割でマウス右ボタンのコンテキストメニューから**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色い枠が表示されます。
- 2 黄色い枠が表示された画面でマウス右ボタンでカメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。
- 3 マウス右ボタンを押して**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了することができます。

- 画面グループ編集モードは連続動作がない場合およそ15秒ほどで終了します。

ビデオ録画

第3章設定を参考にし、NVRを正しく設置すると録画が始まります。

ビデオ録画設定に関する内容は、**第3章 — 設定 — 録画設定**を参照ください。

緊急録画

リアルタイム監視メニュー、または**検索**メニューで緊急録画  アイコンを選択すると、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択してください。**録画設定>一般**で**緊急録画時間**が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は**第3章 — 設定 — 録画設定**を参照ください。

-  • 設定で、緊急録画使用を有効にしている場合に動作します。
- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- **録画設定 - 一般**で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

 録画モードが**上書**状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

保存された映像の再生

マウスを使用して、映像を再生することができます。

-  • 保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときのみ可能です。
- 隠しカメラ設定がされたカメラがある場合、隠しカメラ機能が再生モードでも同様に適用されます。

全チャンネル再生

- 1 画面右側の**リアルタイム監視**メニューを表示させてください。
- 2 検索モード▶アイコンを選択し、**タイムラプス検索**または**イベントログ検索**を選択してください。
- 3 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

データ検索に関する詳しい説明は**第4章 — 検索編**をお読みください。

コンテキストメニュー

検索モードでマウスの右クリックをすると、コンテキストメニューウィンドウが表示されます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。

第3章—設定

メニューの使い方

第3章設定編で取り扱う内容のすべては、**メニューの使い方**をご参照ください。

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

- リアルタイム監視画面で、マウス右クリックのコンテキストメニューから設定を選択するか、マウスで画面右端のリアルタイム監視メニューの設定を選択してください。



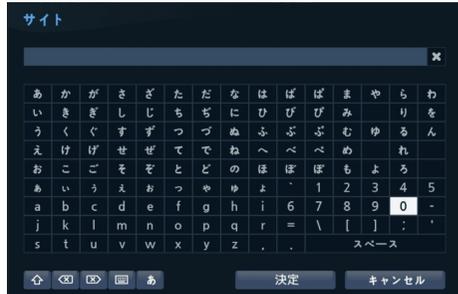
| | |
|---|----------|
| 1 | システム設定 |
| 2 | 録画設定 |
| 3 | イベント設定 |
| 4 | ネットワーク設定 |
| 5 | ディスプレイ設定 |
| 6 | 通知設定 |
| 7 | カメラ設定 |

- マウスを設定したい項目に移動し左ボタンをクリックしてください。
- 設定変更が終わったら、**適用**または**決定**ボタンを押して変更した設定を保存してください。

設定ウィンドウ左下の**初期値**ボタンを選択すると、設定値が初期値に変わります。

スクリーンキーボードによる文字列入力

マウスを使って文字を入力することができます。



| | |
|--|--------------------|
| | 大文字と小文字を選択します。 |
| | カーソルの前の文字を削除します。 |
| | カーソルの後ろの文字を削除します。 |
| | 文字列キーボード入力を変更します。 |
| | 文字列キーボードを英語に変更します。 |

テーブルで全列の値を同時に設定する

第3章—設定—録画設定のようにメニューがテーブルに構成されている項目の場合、一部はテーブルのタイトル値を変更することができます。この場合タイトル値を変更すると、同じ列の全項目の値を同時に変更することができます。

マウスの使用

スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を設定することができます。

システム設定

設定メニューの使い方は**第3章 設定**メニューの**使い方**を参照ください。

一般

システムの一般的な内容を設定します。



- **サイト**：装置の設置場所に対する説明が表示されます（初期値はありません）。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。
- **システムID**：他のNVRと接続されているとき、本機を区別するときに使います。

システムIDの初期値は0であり、0～99まで変更して使うことができます。またシステムIDはスクリーンキーボードで入力することができます。

- **言語**：対応言語を選択して使うことができます。
- **バージョン**：ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **アップグレード**：システムアップデートを行います。アップグレードを押すとUSB検索ウィンドウが表示され、アップグレードパッケージファイルを選択するとシステムをアップデートすることができます。アップデート後にはNVRが自動で再起動します。

アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**第6章 付録 エラーコードの種類**を参照ください。



- **設定**：現在NVRの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。
- **読込**：ネットワーク設定も一緒に読み込むか選択することができます。ネットワーク設定を含むを選択しなければ、現在のシステムのネットワーク設定は変更されません。

設定読込を実行しても、下記の設定値は変更されません。

- 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム）
- カメラに関する**詳細設定**の設定値
- カメラに関する**ストリーム**設定値（保存したときにカメラと解像度が違う場合に限る）

- **保存**：USBに接続されている保存デバイス、またはNetFSに登録されているFTPサイトに設定ファイルを保存します。ファイル名を指定して、現在の設定を保存することができます。

USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

- **システムログ表示**：最近の5,000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は**第6章 付録 システムログの種類**を参照ください。遠隔接続したログの場合、右側に品目アイコンが表示されます。画面下の**保存**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスまたはNetFSに保存することができます。

システムログ

| 時刻 | タイプ |
|---------------------|-------------------|
| 2022-04-21 09:48:56 | 設定保存: admin |
| 2022-04-21 09:46:34 | 設定保存: admin |
| 2022-04-21 09:39:15 | 設定スタート |
| 2022-04-21 09:39:15 | ログイン: admin |
| 2022-04-21 09:36:07 | システムスタート |
| 2022-04-21 09:32:06 | ディスク: 1: 252B16NL |
| 2022-04-21 09:32:06 | システムスタート |
| 2022-04-21 09:31:01 | ファクトリーリセット |
| 2022-04-21 09:29:15 | システム再起動 |
| 2022-04-21 09:26:50 | システムスタート |
| 2022-04-21 09:24:46 | ログアウト: admin |
| 2022-04-21 09:24:45 | システム再起動 |
| 2022-04-21 09:24:41 | アップグレード |
| 2022-04-21 09:22:02 | 設定スタート |
| 2022-04-21 09:22:02 | ログイン: admin |
| 2022-04-21 09:18:55 | システムスタート |

1 / 62 保存

保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

- **全てのデータ削除**：録画されている全てのデータを削除します。**全てのデータ削除**を押すとダイアログボックスが表示され、そこから**削除**を押すと録画されている全てのデータが削除されます。

全てのデータ削除を実行する前に、削除しても良いデータであるか必ず確認してください。一度削除されたデータは復元できません。

• **全てのデータ削除**をしてもシステムログは残り、**全てのデータ削除**というシステムログが追加されます。

- **システム終了**：システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。



チャンネルモードが変わるとシステムは再起動します。

- ・ **トラブル - シューティングレポート**：製品に問題が発生した場合、その問題を解決するためのレポートを生成します。



日付/時刻



- ・ **日付**：日付を変更することができます。
- ・ **時刻**：時刻を変更することができます。
- ・ **日付形式/時刻形式**：日付や時刻の表示方式を変更することができます。
- ・ **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。



画面に表示されている地図をマウスでクリックすることで標準時間帯を選択することができます。

- ・ **サマータイム使用**：サマータイムを適用できます。
- ・ **タイムサーバ**：タイムサーバを選択し、時間を同期化することができます。



- 1 **自動調整**項目を選択してください。
- 2 **タイムサーバ**のIPアドレスまたはドメイン名を入力するか、を選択して登録されたタイムサーバのリストから適切なタイムサーバを選択してください。
- 3 サーバと時間を同期化する**調整間隔**を選択してください。
- 4 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。



- ・ **ネットワーク-WAN**設定で**DNSサーバ**を設定した場合、タイムサーバ項目にタイムサーバのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- ・ **サーバとして動作する**を選択すると、本機がタイムサーバとして動作することになり、他のデバイスがこのサーバの時間情報を使って同期化することができます。

- ・ **休日**：休日を追加/削除できます。設定された休日には、録画スケジュール設定で設定した休日のスケジュールに従って録画されます。

- 1 設定ウィンドウの下の**+**ボタンを選択してください。
- 2 休日に指定したい日付を入力してください。
- 3 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。



各項目の右側のアイコンを押すと、設定された休日を削除することができます。

使用者

ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。



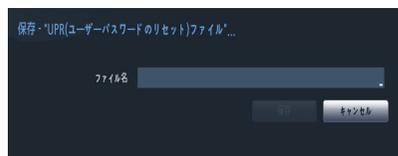
- 1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。
- 2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**第3章－設定－システム設定－使用者－グループ設定表**を参照ください。



- 3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。



- 4 UPRエクスポートボタンを押すとUPR (User Password Reset) ファイルを生成することができます。UPRファイルはオフラインでパスワードを探す場合に使用されます。UPRファイルを保存する場所を選択した後、ファイル名を入力してください。



- 5 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは、文字・特殊文字・数字を混ぜて16文字以内に指定してください。
- 6 **自動ログイン**項目と**自動ログアウト**項目を選択してください。
- 7 **適用**または**決定**ボタンを押して設定を終了してください。



- ・グループ名、ユーザー名、パスワードはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は**第3章－設定－メニューの使い方－スクリーンキーボードによる文字列入力**を参照ください。
- ・登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にあるアイコンを押してください。**グループAdministrator**とユーザーadminは削除できません。
- ・画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にあるアイコンを押すと、**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- ・すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するにはパスワードを入力する必要があります。
- ・**グループAdministrator**の権限オプションは変更できません。
- ・**ユーザーadmin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- ・システムが起動されると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- ・**自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと自動的にログアウトされます。
- ・ユーザー名を変更するためには**グループAdministrator**から他のアカウントで接続してください。

グループ設定表

| | | |
|------------|----------|---|
| システム終了 | | システムメニューでシステムを終了することができます。 |
| アップグレード | | システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。 |
| 色調整 | | 各カメラの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あいが調整できます。 |
| システム検査 | | システム検査の結果であるシステムの状態が確認できます。 |
| PTZ制御 | | PTZカメラを制御することができます。 |
| 隠しカメラビュー | | 監視モードや検索モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。 |
| ファクトリーリセット | | NVRを工場出荷時の初期設定に戻すことができます。 |
| 検索 | バックアップ | バックアップ権限のある場合、検索および映像保存ができます。バックアップ権限がない場合、検索のみできます |
| 設定 | カメラの設定 | カメラの設定を行うことができます。 |
| | PTZ設定 | PTZに関する設定を行うことができます。 |
| | 隠しカメラ設定 | 隠しカメラの設定を行うことができます。 |
| | システム時間変更 | システムの日付/時刻を変更することができます。 |
| | データ削除/保護 | システムの保存データを消したり削除されないように保護することができます。 |
| | 録画設定 | 録画設定に関する環境設定を行うことができます。 |
| | 設定読込 | 以前に保存したNVR設定を読み込むことができます。 |
| | 設定保存 | 現在のNVR設定を保存することができます。 |

セキュリティ

セキュリティ設定を行うことができます。



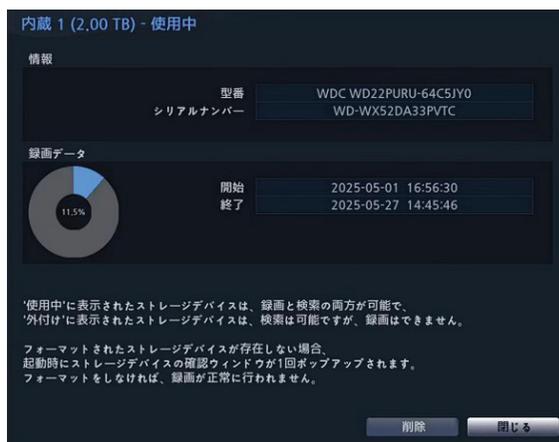
ネットワークセキュリティ（ホスト証明書）

ネットワークセキュリティ接続に使用する証明書管理メニューです。製品証明書の情報確認、証明書の新規生成と出力および読込機能をサポートします。



されていないディスクを接続すると、**初期化されていません**というメッセージが表示されます。

- ・ **情報**：実装されているディスクが録画に使用されているかを表します。他システムで使用していたディスクを接続した場合、**外部**と表示されます。各ディスクの**情報**を選択して保存されたデータの時間情報を確認したり、**削除**を選択してデータを削除したりすることができます。



- 各ディスクの**初期化**を選択すると、録画データが保存できるようにフォーマットすることができます。
- ・ 用途は**使用しない**を選択してフォーマットすると、そのディスクは録画用として使用しません。
- ・ 本NVRはSATA3 HDDに対応します。

HDD

HDDに関する設定を行うことができます。



- ・ **タイプ**：実装されているディスクの種類が表示されます。
- ・ **容量**：各ディスクの容量が表示されます。
- ・ **初期化**：フォーマットされたディスクの場合、**録画**、**使用しない**のいずれか一つが表示されます。まだフォーマット

製品情報



録画設定

設定メニューの使い方は第3章－設定－メニューの使い方

一般

録画に関する一般的な設定を行うことができます。



- ・ **上書**：録画用のHDDの空き容量がなくなると、ディスク単位で古いデータから削除され新しいデータが保存されます。**上書**を解除すると、HDDの空き容量がなくなったら録画は中止されます。
- ・ **イベント録画時間**：イベント発生時、動作連動に録画が指定されている場合、このイベント録画時間で指定した時間だけ連動録画が行われます。
- ・ **自動削除**：一定の期間が経過した録画データは、自動的に削除することができます。
 - **時間**：現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。削除可能な期間は日～999日まで設定できます。

 自動削除機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。自動削除データを選択して期間を設定すると現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日深夜0時に自動削除され、システムが起動される場合や**自動削除**設定を変更する場合にも削除されます。

- ・ **タイムラプス録画期間制限**：イベント録画映像をより長く保管することができます。タイムラプス録画の期間制限機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。この機能は録画ディスクの容量が十分に大きい場合設定した期間よりもっと長くデータを保存した場合に作動し、上書きモードで設定された期間より古い**タイムラプス録画映像**データに上書きをしながら新しいデータを保存します。

- ・  ディスクに保存されている映像の期間が、設定した**タイムラプス録画期間制限**期間よりもっと短い場合には通常のように**イベント録画映像**と**タイムラプス映像**の中で、最も古いデータを先に削除します。
- ・ 録画の画質や解像度、動き、その他ユーザーの設定内容によってシステムの録画期間が変更される場合があるため、場合によっては**タイムラプス録画期間制限**で設定した期間が保証されない場合もあります。

- ・ **自動リカバリサービス**：ネットワーク障害が復旧したとき、カメラのSDメモ리카ードに保存されている映像をNVRに録画することができます。
- ・ **緊急録画使用**：緊急録画機能を使用するか否かを設定することができます。
- ・ **緊急録画期間**：緊急録画を自動的に解除することができます。緊急録画期間は5分～1時間まで設定することができます。自動解除機能を使用しないためには、期間を**制限なし**に設定してください。
- ・ **ビデオプロフィール**：緊急録画時の録画のプロファイル値を選択することができます。

スケジュール



＜単純モード＞



＜高級モード＞

スケジュールオンを解除すると、スケジュールに関わらずスケジュール録画が中断され、各カメラ画面の左上に🔴アイコンが表示されます。緊急ボタンを押すと、🚨表示とともに緊急録画が行われます。

録画スケジュールのモードは、単純モードと高級モードから一つを選択することができます。高級モードを選択すると、各イベントに対してそれぞれ録画スケジュールを設定することができます。

☒アイコンを選択して、スケジュールを削除することができます。

- ☑️ • 録画スケジュールモードを変更すると、変更時に作動していたイベント連動動作は停止します。
- 設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。曜日を選択し、録画スケジュールを設定する曜日、または全てを選択することができます。範囲を選択し、時間の範囲を選択することができます。

単純モード設定

- **モード**：録画しない、連続録画、イベントまたは指定時間およびイベントに設定することができます。

| | |
|---------------------|--|
| 録画しない | 緊急ボタンを押さない限り、スケジュールで指定された曜日や時間の範囲では録画が行われません。 |
| 連続録画 | 画面の左上に🔴アイコンが表示され、スケジュールされた時間帯になると、🔴アイコンが表示されて録画が始まります。 |
| イベント | 画面の左上に🚨アイコンが表示され、そのイベントが発生すると、🔴アイコンが表示されて録画が始まります。 ☑️ イベントが設定されているとイベントが発生せずに録画されていないときは、🚨アイコンと🔴アイコンが表示されます。イベントが発生して録画されるときは、🚨アイコンと🔴アイコンが表示されます。 |
| 指定時間 および イベント | 画面の左上に🔴アイコンが表示され、設定で指定した時間どおりにビデオプロファイルで録画されます。イベントが発生したらアイコンが🚨(赤)に変わり、設定でイベントに設定したビデオプロファイルで録画されます。 |

- **チャンネル**：スケジュールを適用するカメラを選択することができます。
- **設定**：選択すると連続録画およびイベント録画モードに対してビデオプロファイルをそれぞれ設定できます。



高級モード設定

設定を選択すると、イベントの種類やビデオプロファイルなどを設定することができます。

- **種類**：時間録画及びそれぞれのイベント別の録画を表示されるアイコンは次のとおりです。

| | | | |
|---|----------------|---|---------|
|  | タイムラプス (時間) |  | トリップゾーン |
|  | モーション感知 |  | タンパーリング |
|  | 映像信号なし |  | 自動追跡 |
|  | PIR |  | 録画失敗 |

- **ビデオプロファイル**：録画に使用するプロファイルを設定することができます。
- **期間**：指定したイベントが発生したときに録画される期間を選択することができます。

- 設定しないチャンネルに対しては、上位のスケジュールの設定値が適用されます。
- 特定のチャンネルで同時に複数のイベントが発生して録画が始まる状況において、各イベントの連動録画に対する**ビデオプロファイル**および**期間**の設定値が異なる場合、より上位の設定値に従います。

プライベート

イベントが発生したときに指定された期間だけ、以前の映像を含めて録画する機能です。



- **番号**：プライベートを設定するカメラを選択/解除できます。
- **ビデオプロファイル**：録画に使用するビデオプロファイルを設定することができます。
- **期間**：プライベート録画期間を設定することができます。

- スケジュール上、イベントモードのスケジュールが一つもない場合はプライベート録画のためにイベントモードスケジュールを追加するように警告ウィンドウが表示されます。
- **時間およびイベントモード**の場合にも警告ウィンドウは表示されます。

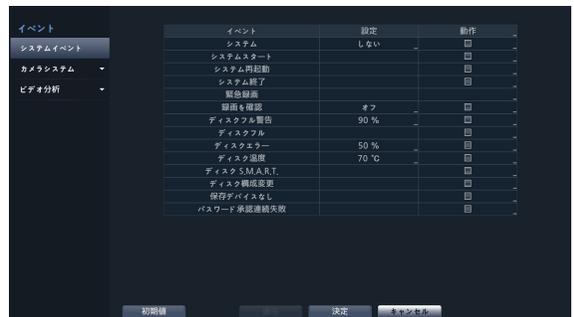
イベント設定

設定メニューの使い方は**第3章－設定－メニューの使い方**を参照してください。

- NVRにカメラを登録して使用する場合、カメラ登録時にカメラ設定の大部分はNVR規定値に変更されます。カメラ登録後のカメラ設定変更はNVRから行い、PCなどからカメラに直接接続して設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。

システムイベント

システムイベントの監視に関する設定を行うことができます。



- **設定**：各システムイベントの監視間隔および監視項目を設定することができます。
- **動作**：各イベント発生時に実行されるアラーム出力(NVRのアラーム出力チャンネル、NVRのビーブ、カメラのアラーム出力チャンネル)および通知(メール、LAN1～5、Push、警告ウィンドウ)機能を設定することができます。

監視項目

| | |
|-------------------------|--|
| システム | 監視間隔が設定でき、周期的なシステムの自己点検を行います。 |
| システムスタート、システム再起動、システム終了 | システムスタート、再起動、または終了されると、設定した動作を行います。 |
| 緊急録画 | 緊急録画発生時には設定した動作が始まります。 |
| 録画を確認 | <p>録画するようにスケジュールされている場合、設定されたスケジュール上の監視間隔の間に録画されていなければ異常になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> スケジュールオンを選択した後、曜日や時間範囲、監視間隔を設定します。設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。<input type="checkbox"/> アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。</p>  |
| ディスクフル警告 | 全体ディスク容量の80～99%まで設定することができ、ディスク容量が該当する比率以上を占めた場合にイベントが発生します。 |
| ディスクフル | ディスク容量が満杯になったときイベントが発生します。 |
| ディスクエラー | 割合は10～90%まで10%単位で設定することができます。ディスク容量のうち指定した割合以上に損傷した場合イベントが発生します。 |
| ディスク温度 | 温度を設定することができます。いずれかのHDDの温度が指定した設定温度に達したり、高くなるとイベントが発生します。 |
| ディスクS.M.A.R.T. | S.M.A.R.T.に対応するディスクにエラーが発生した場合、イベントが発生します。 |
| ディスク構成変更 | HDD交換後などに、システムが再起動されると発生するイベントです。 |
| 保存デバイスなし | HDDが接続されていない時に発生するイベントです。 |
| パスワード承認連続失敗 | 連続して間違ったパスワードを入力し、ログインに失敗した場合に発生するイベントです。 |



- ・システムイベントの場合、動作は電子メール通知だけが選択できます。
- ・通知(コールバック)機能を使用するためには、NVRがコールバックを受けるPCの遠隔ソフトに登録されている必要があります。

カメラシステム

ビデオ分析を除くカメラで発生するイベントリストです。



コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム：映像信号なし



- **活性化時間**：映像信号なしをイベントとして見なすための映像信号なしの継続時間を設定します。映像信号なしが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：映像信号なしイベント発生時の動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム：録画失敗



- **活性化時間**：録画失敗をイベントとして見なすための録画失敗の継続時間を設定します。録画失敗が感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：録画失敗を検知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム：PIR

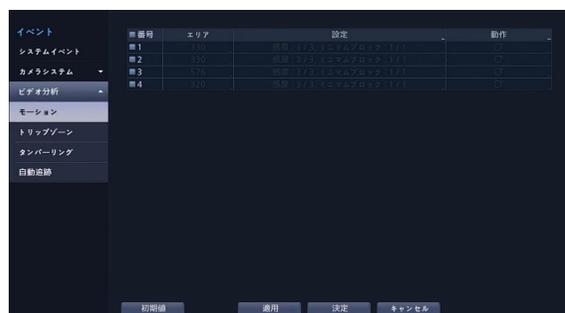
(現在、連携する製品を提供していません。)

ビデオ分析

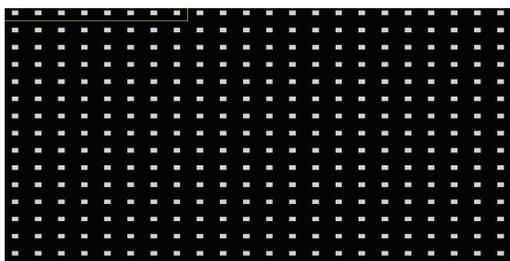
映像分析によって発生するイベントリストでモーション、トリップゾーン、タンパリング、自動追跡イベントがあります。



ビデオ分析：モーション



- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



エリア設定画面でマウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることができます。

マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

設定



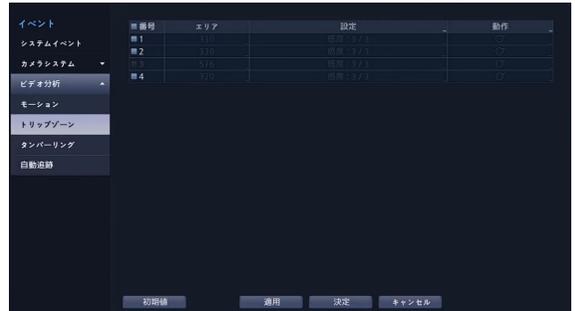
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **ミニマムブロック**：設定されたブロックの数以上でモーションを感知しないと、モーション感知イベントが発生しません。この値を1から**エリア**設定で選択されたブロックの数以下まで選択することができ、週間・夜間を区別してそれぞれ設定します。
- **インターバルを無視**：カメラチャンネルのモーションが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたモーションについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒または「しない」を選択することができます。

モーション感知無視期間は、イベント録画にはなんの影響も及ぼしません。

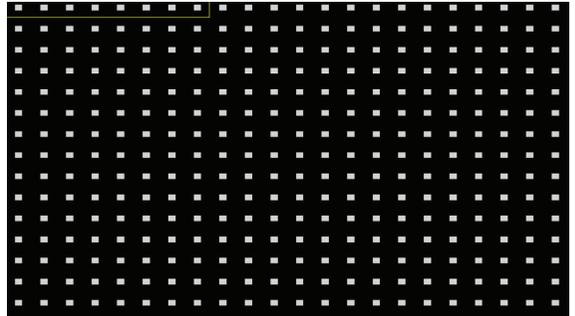
- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。
- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

ビデオ分析：トリップゾーン



- **番号**：トリップゾーン感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



エリア設定画面でマウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることができます。マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。

- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **トリップ方向**：イベントとして見なすモーションの方向を選択します。イン側を選択すると選択エリアの外部から内部にモーションが発生する場合、アウト側を選択すると選択エリア内部から外部にモーションが発生する場合、イベントとして見なされます。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

・設定

トリップゾーン 1 - 設定

感度 昼間 3
夜間 3

インターバルを無視 2 秒

昼間設定 09:00 ~ 18:00

決定 キャンセル

- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)~5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **インターバルを無視**：カメラチャンネルのトリップゾーンイベントが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンイベントについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

トリップゾーン無視期間は、イベント録画には影響を及ぼしません。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。
- **動作**：トリップゾーンを感知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。

ビデオ分析：タンパーリング

| イベント | 番号 | 感度 | 活性化時間 | 無視条件 | 動作 |
|----------|----|----|-------|------|----|
| システムイベント | 1 | 1 | 0分 | 無条件 | 録画 |
| カメラシステム | 2 | 1 | 0分 | 無条件 | 録画 |
| ビデオ分析 | 3 | 1 | 0分 | 無条件 | 録画 |
| モーション | 4 | 1 | 0分 | 無条件 | 録画 |
| トリップゾーン | | | | | |
| タンパーリング | | | | | |
| 自動追跡 | | | | | |

初期値 適用 決定 キャンセル

- **番号**：タンパーリング感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)~5(高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **活性化時間**：タンパーリング感知をイベントとして見なすためのタンパーリングの継続時間を設定します。タンパーリングが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **無視条件**

タンパーリング 1 - 無視条件

■ 無視時間使用 18:00 ~ 09:00

決定 キャンセル

- **無視時間使用**：カメラチャンネルのタンパーリング感知無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはタンパーリング感知機能が作動しません。
- **動作**：タンパーリングを感知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。

- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。



コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。



- 本機能を設定しない場合、自動追跡終了後にPTZが最初の位置に移動しなくなるのでご注意ください。
- PTZカメラのうち一部のカメラだけが本イベントに対応します。当該イベントに対応しているかについては製造元にお問い合わせください。
- 動作から連動動作にPTZを設定すると、イベントが発生するカメラをPTZ連動動作カメラに設定することができません。例えば、8番の自動追跡動作でPTZ設定すると、8番カメラのPTZを設定することができません。

- **動作**：イベント発生時の動作を設定することができます。

- **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。

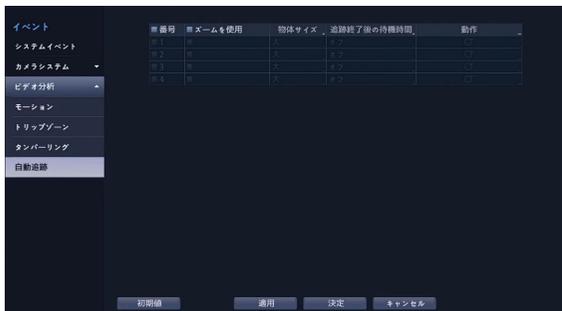
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、Push、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。

- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

ビデオ分析：自動追跡

PTZカメラが動く物体を検知すると、カメラがPTZを操作して動く物体を追跡します。自動追跡イベントはPTZカメラが物体を追跡すると同時に発生します。



- **番号**：自動追跡感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **ズームを使用**：物体を追跡するときにPTZがズーム機能で動作して物体を拡大します。
- **物体サイズ**：自動追跡を使用するときのズームレベルを設定します。物体サイズは、大/中/小のうち一つを選択できます。物体サイズを大きく設定すると、画面で物体が大きく出力されます。



物体サイズの設定機能は、ズーム使用機能を使用する場合のみ有効になります。

- **追跡終了後の待機時間**：物体追跡が完了した後にカメラは、終了した位置を設定した時間だけ監視してから最初の位置にPTZを移動させます。

ネットワーク設定

設定メニューの使い方は第3章－設定－メニューの使い方を参照ください。

一般



・ **データ伝送のためのSSLを適用**：遠隔監視または遠隔録画のために伝送されるデータにSSL (Secure Sockets Layer) 認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

- ・ SSL機能を使用するとき、SSL機能に対応しない遠隔プログラムまたはネットワークキーボードでは本NVRに接続することができません。
 - ・ SSL設定を変更すると、これを適用するためにNVRへの接続が一時的に途切れます。
 - ・ 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。
- ・ **ネットワークバンド幅制限**：制限したいバンド幅を設定します。
 - **ビットレート**：バンド幅のサイズを設定できます。
 - **バースト**：バーストバイトまたはバッファバイトのサイズを設定できます。
 - **遅延時間**：遅延時間を設定できます。
 - **MTU**：最大伝送パケットサイズ (Maximum Transmission Unit) を設定できます。

ネットワークバンド幅制限を設定する場合、遠隔監視映像が途切れる場合があります。

WAN

ネットワークポートのIPアドレス種類を手動、DHCPに選択することができます。

手動



・ **タイプ**を手動に選択してください。

手動を選択した場合、手動で設定することができます。**IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク**の各項目を選択したあと、上下方向ボタンで数字を増減させるか、スクリーンキーボードで直接数値を入力して、設定します。

- ・ VINとWANのIPに同じセグメントのIPを設定しないでください。
- ・ JSS遠隔監視モバイル2アプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。

- ・ **DNSサーバ**：DNSサーバのIPアドレスを入力します。IPアドレスはスクリーンキーボードでも入力することができます。
- ・ **遠隔ポート**：遠隔地プログラムで接続するために使用するポートです。ポート番号はスクリーンキーボードでも入力することができます。
- ・ **Pingテスト**：現在設定されてる値でWAN接続ができているかをテストします。



- 1 NVRのIPアドレスを入力してください。
- 2 Pingテストの回数を設定してください。
- 3 テスト**スタート**ボタンを押してテストを行ってください。テストの結果が表示されます。
- 4 **閉じる**を押して設定を終了してください。

- ポート変更はファイアウォールなどを使用する場合、ファイアウォールで許容されるポート番号を変更するときに使用します。
- ポートを変更すると、NVRへの遠隔接続が一時的に途切れます。

 遠隔プログラムの遠隔地点IP/ポート設定も同様に変更しなければ遠隔プログラムから接続ができません。

DHCP



DHCPを選択して**適用**を押すと、DHCPサーバからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動的に割り当てられます。ネットワーク情報が割り当てられると、IPアドレス項目にNVRの現在のIPアドレスが表示されます。

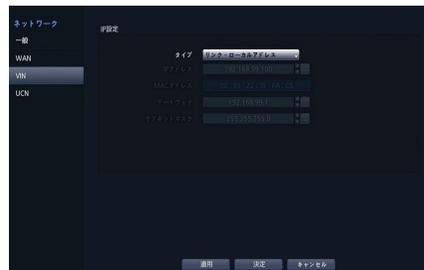
- DHCPを使用する場合、DHCPサーバがなければIPアドレスが割り当てられないこともあります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP設定を使用する場合、NVRのIPアドレスはNVRが起動されるたびに更新されることがあります。
- JSS遠隔監視モバイル2アプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。

 遠隔接続のとき、同時に接続できる回線には制限があります。詳細は、販売店までお問い合わせください。

VIN

カメラがネットワークに接続されていながらも検索されない場合、本設定を使用します。本設定で、NVR後面パネルにあるVIDEO INポートに対するNVR側のネットワーク設定を変更することができます。

- 本設定を使用する前には、まずカメラのネットワーク設定を確認してください。
- VINとWANのIPに同じセグメントのIPを設定しないでください。



- **リンク - ローカルアドレス**：VIDEO INポートのデフォルト(高性能設定は無効です)。



- **手動**：IPアドレスをはじめとし、ネットワーク設定を手動で行うことができます。



- **DHCPクライアントモード**：DHCPサーバからIPアドレスをはじめとするネットワーク設定が自動で割り当てられます。
- **DHCPサーバ**：NVRをDHCPサーバで動作します。同様のネットワークにDHCPサーバがあるか確認しま

す。DHCPサーバがない場合、本オプションを選択することができます。NVRがDHCPを利用し、VIDEO INポートに接続されているカメラのIPアドレスを自動で割り当てます。IPアドレス範囲は、**10.10.0.128～10.10.254.254**です。DHCPサーバモードでは、VIDEO INポートがNVRとカメラ間の単一ネットワークで接続されているため、ゲートウェイには何の意味もありません。サブネットマスクは255.255.0.0(Class B)です。

- 同じネットワーク上に複数のNVRが存在する場合、その中の一台だけをDHCPサーバとして設定することが出来ます。もし、複数のDHCPサーバが作動すると、カメラに重複したIPが割り当てられることがあります
- 10.10.0.1～10.10.0.127のIPアドレスはNVRシステムに割り当てられているため、使用しないことをお勧めします。
- 10.10.0.1～10.10.0.127のIPアドレスはVIDEO INポートにDHCPサーバが割り当てられているため、使用しないことをお勧めします。

UCN

UCNサービスはダイナミックIPを使用するNVRを遠隔管理プログラムで接続するとき、ダイナミックIPやルータ設定などを気にすることなく簡単に接続できるようにする機能です。



- **UCNを使用**：UCNサービスを使用する場合はチェックしてください。
- **UCNサーバ**：UCNサーバのIPアドレスやドメイン名を入力することができます。

- ネットワーク-WAN**設定でDNSサーバを設定した場合、**UCNサーバ**項目にUCNサーバのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- JSS遠隔監視モバイル2アプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。

- **ポート**：UCNサーバのポート番号を設定することができます。

- IPルータ(あるいはNAT)を使用する場合、ポート設定などのネットワーク機能はIPルータ(あるいはNAT)の使い方に従います。

- **UCN名前**：UCNサーバに登録するNVR固有の名前を入力したあと確認ボタンを押して、使用可能と表示されましたら、適用を押して登録してください。

- UCN名項目の確認ボタンをクリックし、入力されたデバイス名が使えるかどうかを確認しない場合UCN設定を保存することができません。
- UCN名を入力しなかったりUCNサーバにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- UCN名に#、\、%の記号が含まれている場合、WEB Client 2プログラムでNVRにアクセスする時にアクセスができないことがあります。

- **状態**：UCNサーバに登録したデバイスの状態を確認することができます。

設定を変更した後**適用**を選択すると、NVRのUCN名がUCNサーバに登録されます。

- UCN設定が正常に行われた場合、再びUCN設定画面に入るときに**ヘルプ**項目にUCNサーバのヘルプに関する情報が表示されます。

ディスプレイ設定

設定メニューの使い方は**第3章－設定－メニューの使い方**を参照ください。

OSD

OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示するようになります。



状態について

- **日付、時間**：日時と時間が表示されます。
- **ネットワーク**：デバイスがイーサネットでネットワークに接続されている場合、表示されます。
- **残容量**：上書きモードが実行されているかを表示します。また、上書きモードが実行されていない場合に使用できる残容量が表示されます。
- **ユーザー名**：現在のユーザーのログイン状態を表示します。
- **バックグラウンドパネル**：画面下段にバックグラウンドパネルが表示されます。

カメラについて

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されます。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **録画**：録画やスケジュールに関するアイコンが表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、**P**アイコンを表示します。
- **PTZ拡大**：カメラがPTZカメラに設定されている場合、拡大モードにおける拡大の倍率を示します。(×2、×3など)

- **解像度**：再生モード画面に録画解像度が表示されます。
- **コーデック**：再生モード画面にコーデック情報が表示されます。
- **拡大**：拡大された状態が表示されます。
- **フリーズ&自動切替**：フリーズ&自動切替アイコンが表示されます。
- **画面グループ**：現在の画面グループが表示されます。

メインモニター

モニターに関する設定を行うことができます。



- **モード**：フル切替または切替を選択することができます。
- **カメラ切替時間**：3秒～2分まで設定できます。自動切替については**26ページ⑥自動切替**を参照ください。
- **手動構成**：モニターの解像度情報に関わらず、ユーザーが解像度を手動で設定することができます。
- **解像度**：3840×2160、1920×1200、1920×1080、1680×1050、1600×1200から設定することができます。



- モニターによって対応できる解像度が制限されることがあります。
- 3840×2160@50/60Hzの解像度は、HDMI2.0、モニタのみサポートされません。
- 1920×1080または3840×2160の解像度を使用することをお勧めします。
- VGAモニタをメインモニタとして使用する場合は、1920×1080以下の解像度を使用することをお勧めします。
- HDMI deep control機能はサポートしていません。

- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。イベントモニタリングに関しては**30ページ イベントモニタリング機能**を参照ください。
- **イベント 警告**：イベント警告が設定されると、イベント発生時のイベントモニタリングが連動されているカメラ画面の上段に赤い線が表示されます。
- **BRP(Boost Remote Performance)モード使用**：BRPモードが設定されると、リアルタイム監視モードでは全カメラのライブ映像が表示されなくなり、ネットワークバンド幅制限が100Mbpsに向上します。

通知設定

スケジュール

スケジュールリストの左下にある＋アイコンを選択し、通知スケジュールを追加することができます。



- **曜日**：曜日別を選択することができます。
- **範囲**：イベント通知時間帯を変更することができます。
- **通知**：イベントを感知したときに実行される通知を選択することができます。**メール、LAN1～5、Push、FTP、サマリ**などを設定することができます。



- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- 設定されたスケジュールの右側の☒アイコンを押すと、設定されたスケジュールを削除することができます。

- **サマリーEmail間隔**：決められた時間ごとに、イベントの内容を要約したメールを遠隔地に伝送します。

1) デバイス情報のサマリーEmail例

デバイス情報:

- 時刻：2024-12-30 15:20:40
- MACアドレス：00:03:22:7F:5B:03
- IPアドレス：10.0.121.194

2) カメライベントのサマリーEmail例

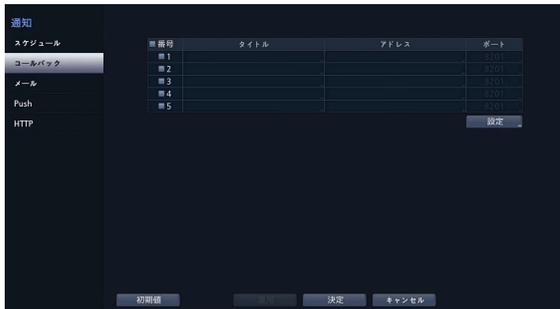
サマリー情報:

• イベント - カメラ

| 番号 | モーション | トリップゾーン | タンパーリング | 映像歪みなし | 検出失敗 | オーディオ検出 | 顔検出 | PIR | 自動追跡 | 深層検出 | ラインクロス検出 | 物体検出 | 侵入検出 |
|----|-------|---------|---------|--------|------|---------|-----|-----|------|------|----------|------|------|
| 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

コールバック

遠隔地へのコールバック機能を設定することができます。



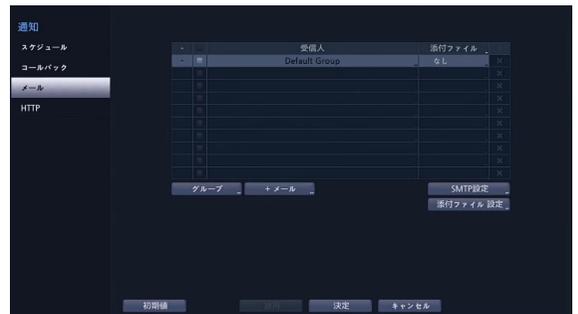
コールバックを受信するサーバのIPアドレスを設定し、NVRが遠隔接続に失敗したとき、**リトライ**する回数を1回から10回まで選択することができます。コールバックイベントをリトライするためのポリシーを設定します。設定ウィンドウの右下にある**設定...**ボタンを選択してコールバックリトライポリシーを設定することができます。



- ・ **リトライポリシー**：コールバックイベントをリトライするためのポリシーを設定します。
 - **リトライ**：コールバックイベントをリトライする回数
 - **時間**：コールバックイベントのリトライ待機の秒単位の時間
 - **最大キューサイズ**：コールバックイベントを処理できる最大サイズを設定します。

メール

遠隔地へのメール機能を設定することができます。



- ・ **+グループ**：メール受信者グループを追加し、電子メールに添付するイメージファイルの形式について設定することができます。



グループを選択すると、キーボード入力ウィンドウが表示され、グループ名を指定することができます。添付ファイルからCBFを選択するとビデオクリップ形式の、MP4を選択するとMP4形式のイベント映像が当該グループへのメール送信の際に添付されます。

- メール通知機能**は、ベストエフォート (Best-effort) サービスであり、保証 (Guarantee) サービスではないため、外部 (3rd-party) ソリューションおよびシステムと同期する時にご注意ください。
- ・ **メール通知機能**は、SMTPプロトコルの特性上リアルタイムを保証しません。

+グループ：メールアカウントを追加することができます。



表示名を選択して受信者の表示名をした後、アドレス項目に受信者のメールアドレスおよびメールサーバを設定します。★を選択すると登録されたメールサーバリストから希望するメールサーバを選択することができます。

- 受信人のメールアドレスは必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

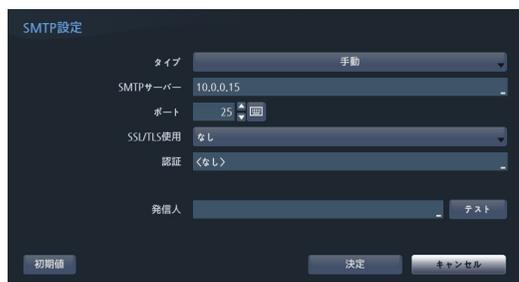
設定されたメールアカウントの右側の添付ファイルアイコンを選択すると、そのアカウントにメールを送信するときにイベント映像が添付されます。

設定されたメールアカウントの右側のXアイコンを押すと、設定されたアカウントを削除することができます。

SMTPを設定する

メールアカウント設定ウィンドウの右上に**SMTP設定**を選択し、SMTPサーバを設定することができます。

- 1 SMTPサーバの**タイプ**を選択してください。
- 2 **SMTPサーバ**のIPアドレスまたはドメインネーム、SMTPサーバの**ポート番号**、**発信人**を設定してください。



SMTPサーバのポート番号の初期値は**25**です。**テスト**を選択すると、現在設定されたアドレスにメールが送信されテストすることができます。サーバが対応している接続方式に応じてSSL/TLSまたはSTARTTLSを選択して使用することができます。

- ネットワーク** - WAN設定でDNSサーバを設定した場合、**SMTPサーバ**項目にSMTPサーバのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- 発信人**には必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

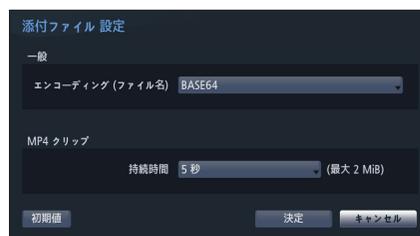
SMTPサーバにユーザー認証が必要な場合**使用**を選択し、ユーザー認証を使用するかどうかを選択したあと、**ユーザー名**と**パスワード**を設定します。



- 3 **決定**を押して設定を終了してください。

- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

添付ファイル設定



- エンコーディング(ファイル名)**：添付ファイル名に対するエンコーディングをBASE64またはPLAIN-TEXTに設定できます。
- 優先**：メールおよびFTP添付ファイルに対するストリーム映像をメインストリームまたはサブストリームに設定できます。
- MP4 クリップ**：メール送信時、イベント映像が添付され、MP4クリップの録画時間を設定できます。

- カメラが発生させるイベントに関する映像だけが添付されます。

Push

遠隔地へのプッシュ機能を設定することができます。

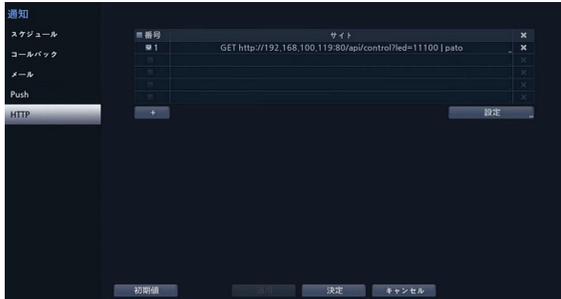


プッシュ機能の使用するにはPushを選択してください。プッシュ機能を設定すると、イベント発生時にモバイルで関連メッセージ受信ができます。

- NVRで発生したイベントをモバイル(Android, iOS)で受信することができます。NVRがモバイルに登録され、設定されている必要があります。

HTTP

遠隔地のHTTPサーバーにイベント発生のお知らせおよび伝達をします。HTTPサーバーには、イベントおよびNVR情報をJsonタイプで伝送します。



設定ウィンドウの左下にある+ボタンを選択してHTTP通知サーバーの情報を入力します。



・ **タイトル** : HTTP通知サイト名を入力します。

仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- ・ **タイプ** : 「GET」 「POST」 などリクエストメソッド指定
- ・ **アドレス** : HTTP通知を受けるためのアドレスを入力します。
- ・ **経路** : HTTP通知サーバーアドレスの経路を入力します。
- ・ **ユーザー、パスワード** : HTTP通知サイトに接続するための情報を入力します。

HTTP通知の設定

HTTPイベント発生を伝達する時に含む属性とパラメータを設定します。設定ウィンドウの右下にある設定...ボタンを選択してHTTP通知設定を入力することができます。下記のようなウィンドウが表示されたら、+ボタンを選択してHTTP通知属性(タイプ、名前、値)を設定することができます。



- ・ **HTTPリクエストのパラメータ** : HTTPリクエストに対するタイムオーバー、リトライ、遅延時間(リトライ)を設定します。
 - **タイムアウト** : 最初の接続の試みに許容される最大時間
 - **リトライ** : 接続に失敗した場合、接続をリトライする回数
 - **遅延時間(リトライ)** : リトライと次のリトライの間の時間

HTTP通知の属性



- ・ **タイプ** : HTTP通知属性によってBOOL、INT32、FLOAT32、STRINGのうち一つを選択します。
- ・ **名前** : HTTP通知属性名前を入力します。
 - 半角英数字で31文字まで入力できます。
 - 遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合も同様です。半角英数字以外は使用できません。
 - 遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。
- ・ **値** : HTTP通知属性値を入力します。

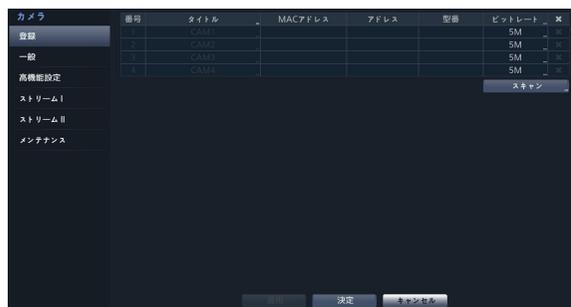
カメラ設定

設定メニューの使い方は第3章 設定メニューの使い方

- NVRにカメラを登録して使用する場合、カメラ登録時にカメラ設定の大部分はNVR規定値に変更されます。登録するカメラは初期化してあると安心です。カメラ登録後のカメラ設定変更はNVRから行き、PCなどからカメラに直接接続して設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。

登録(遠隔設定時だけ表示されるメニューです)

リストからカメラ番号を押すと、マウスのホイールを利用してカメラの位置を移動することができます。カメラの位置を移動するとき、下のカメラとの入れ替えは自動的に行われます。



- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **MACアドレス**：NVRに登録されているカメラのMACアドレスが表示されます。
- **アドレス**：NVRに登録されているカメラのIPアドレスが表示されます。
- **型番**：カメラのモデル名が表示されます。
- **ビットレート**：チャンネルに割り当てられたビットレートを変更することができます。
- **スキャン**：スキャンを選択し、NVRに接続されているデバイスを検索して登録することができます。

- 本機能は遠隔プログラムを利用してNVRに接続する場合のみに対応します。

スキャン

スキャンボタンを押すと、カメラを検索することができます。



- **プロトコル**：検索したいカメラのプロトコルを選択してください。

- 1台のカメラについて、JSSあるいはJSS2プロトコルでカメラ登録できるNVRは1台だけです。すでに別のNVRにJSSあるいはJSS2プロトコルで登録済みのカメラは、重複してJSSあるいはJSS2プロトコルでカメラ登録することができません。

- 選択したプロトコルによって、対応できるスキャンモードが異なることがあります。
- NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合があります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、代理店までお問い合わせください。

- **モード**：検査モードを選択してください。
 - **自動スキャン(LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。自動スキャン(LAN)モードで検索できないカメラはIPアドレスで検索してみてください。
 - **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2台以上のカメラを登録する場合、IPアドレスを範囲で入力すると、一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定するとき、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

- 自動スキャン(LAN)モードで検索できないカメラはIPアドレスモードで検索してみてください。

- **フィルタ**：登録したいカメラのMACアドレス/アドレス/型番/名前/状態のキーワードを入力して検索することができます。



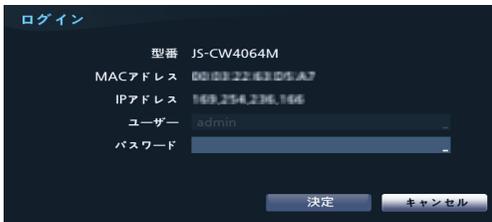
ポートを設定するとき、NVRで指定したポートとカメラで
使用されるポートが異なる場合、検索されないことがありま
す。このような場合、カメラのIPアドレスを変更しないと、デ
バイスを登録することができません。

- **番号**：検索されたカメラの**番号**を選択した後、**カメラを
追加**をクリックすると、カメラを登録することができます。
- **MACアドレス**：検索されたカメラの**MACアドレス**が
表示されます。
- **アドレス**：検索されたカメラの**IPアドレス**が表示されま
す。
- **型番**：検索されたカメラの**型番**が表示されます。
- **プロトコル**：検索されたカメラの**プロトコル**が表示されま
す。
- **名前**：検索されたカメラの**名前**が表示されます。
- **状態**：NVRに登録されているカメラは登録に、登録され
ていないカメラは**未登録**に表示されます。

ログイン

パスワードが設定されているか、または他社製のカメラの場
合、装置を登録するためには、登録権限のあるユーザーで
ログインしなければなりません。

- 1 ログインしたいデバイスをリストから選択した後、**カメラ
を追加**を選択するとログインウィンドウが表示されます。



- 2 **ユーザー**を選択した後、**パスワード**を入力し、**決定**
ボタンを押してください。



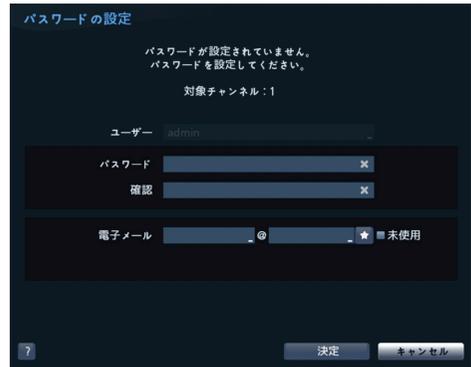
- **全て適用**を選択すると、デバイススキャンリストに表示
されるすべてのデバイスに同じ認証情報を適用します。
- リストから複数のデバイスを選択し、**カメラを追加**を選
択すると、そのデバイスに対する認証ウィンドウが順番
に表示されます。次を選択すると、選択したデバイスの
認証をキャンセルし、次のデバイスの認証ウィンドウを
表示します。

カメラのパスワード設定

カメラのパスワード変更及び検索機能に対応するJSSプ
ロトコルカメラの場合、最初にカメラを登録するときにカメ

ラのパスワードを設定する必要があります。電子メールの
情報は、今後カメラパスワード変更や検索のために使用さ
れます。

- 1 ログインしたいデバイスをリストから選択した後、**カメラ
を追加**を選択するとパスワードの設定ウィンドウが表示
されます。



- パスワード設定及び変更機能に対応するカメラのうち、パ
スワードを設定していないカメラのみ当該画面が表示され
ます。

- 2 **パスワード**、**電子メール**情報を入力し、**決定**ボタンを押
してください。



- 電子メールのアドレスを認証していないと、当
該情報を正しく入力しなかったり、または任意
の情報が入力されている場合は、パスワードを
探せない場合があります。
- 認証のためにはUCN設定が必要です。
- 全て適用を選択すると、装置のスキャンリス
トに表示されるすべてのデバイスのうち、パ
スワードを設定する必要があるカメラに同じパ
スワード、電子メールの情報を適用します。
- リストから複数のデバイスを選択し、**カメラ
を追加**を選択すると、そのデバイスに対する認
証ウィンドウが順番に表示されます。次を選
択すると、選択したデバイスの認証をキャン
セルし、次のデバイスの認証ウィンドウを
表示します。

一般

カメラを使用するか否かを選択したり、タイトルを編集したりすることができます。



- ・ **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- ・ **使用**：普通、隠し1、隠し2に設定することができます。隠し1または隠し2で設定する場合、隠しカメラを見る権限のないユーザーは、そのカメラの映像を監視・再生できません。隠し1の場合は映像は表示されませんが、様々なOSDは表示されます。隠し2の場合はカメラが未接続のように映像だけではなくOSDも表示されません。

高機能設定

カメラのセキュリティレベルを設定したり、カメラの全般的な設定を行ったりすることができます。



- ・ **ビデオ**：カメラの映像センサー設定、ホワイトバランス、露出などの設定ができます。カメラによって設定項目が異なる場合があります。
- ・ **プライバシーマスキング**：プライバシーマスキングの動作有無やエリア設定が可能です。
- ・ **SSL**：カメラのセキュリティレベルを使用しない、標準、良い、とても良いのいずれ一つに変更することができます。標準、良い、とても良いに設定された場合、SSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

- ・ **モード**：解像度モードを選択することができます。本設定はアナログカメラまたはビデオエンコーダが接続されている場合にのみ対応します。

イメージセンサー設定



- ・ **製品、ファームウェアバージョン**：カメラ名、モデル名およびソフトウェアバージョンを表示します。
- ・ **ビデオスタイル**：TV色またはPC色を選択することができます。
- ・ **逆光補正**：逆光補正機能のON/OFFを設定します。逆光補正を使用する場合、逆光のときでも被写体をより明るく映します。
- ・ **自動調整**：自動を選択すると、システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切な値を自動で設定します。手動を選択すると、ユーザーが手動で値を調節することができます。
- ・ **シャープネス**：映像の鮮明度を設定します。映像の輪郭を調節し、鮮明度を補正することができます。値が大きいくほど映像が鮮明になりますが、大きすぎる場合には映像にノイズが発生することがあります。
- ・ **ノイズフィルター**：ノイズフィルターの強度を設定します。照度が低い場所で映像のノイズを減らすことができます。値が大きいくほどノイズが減りますが、大きすぎる場合には映像が全般的にぼやけることがあります。
- ・ **3DNR(3Dノイズの除去)**：3DNRを使用するか否かを設定します。3DNRを使用する場合、低照度の環境でも背景のノイズを減らすことができます。3Dノイズフィルターを適用すると映像がぼやける現象はなくなりますが、画面を引きずる現象(残像)が発生することがあります。
- ・ **フォーカス再調整**：昼夜間が切り替わるとカメラのフォーカスを再調整します。
 - **オン/オフ**：フォーカス再調整をオン/オフします。
 - **昼夜モードへ変更**：カメラが昼間または夜間と映像が切り替わる場合、カメラのフォーカスを再調整します。

- **IRへ変更**：カメラがIRを感知してIR環境の場合、フォーカスを再調整します。
- **ホワイトLEDモード**：PIRセンサにより動きを検出したとき、自動/On/OffにてホワイトLEDを点灯するか否かを設定します。
- **回転**：回転機能を使用するか否かを設定した後、方向を選択します。回転機能を使用する場合、映像を時計回り、あるいは反時計回りに90度回転させます。ただし、垂直解像度が320より小さい場合、本機能には対応しません。本機能を使用すると、廊下や通路など細長い空間を監視するとき、より効果的に監視することができます。
- **曇り除去**：本機能を使用するかどうかを設定します。本機能を使用すると霧のかかった映像を補正して表示してくれます。
- **IR Strength**：IR LEDの明るさを調節します。項目を選択すればIR LEDセンサが照度を感じ、明るさを自動的に調節します。項目を選択しなければ明るさを手動で0～100%まで設定することができ、値が大きいほど明るくなります。
- **スマートIR**：被写体が近づいてきた時に、赤外線の光量を調節して白とびを抑え、より鮮明にします。本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。
- **高機能なAEモード**：**普通**または**番号識別**の中から設定モードを設定します。**番号識別**モードでは照度が低い場所で逆光によって映像の特定の部分が明るすぎてそれ以外の部分が暗すぎる場合、その特定の部分の逆光を遮断しそれ以外の部分の映像をより明るくて鮮明に見ることができます。例えば、暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、ヘッドライトの光だけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。**番号識別**モードを選択すると映像センサの一部の設定値が**番号識別**モードで適切な値が自動的に適用され、ユーザーが任意で変更することはできません。
- **ミラーリング**：**水平**または**垂直**項目を選択し、映像を左右または上下に反転させます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

ホワイトバランスの設定



- **プリセット**：予め設定しておいたホワイトバランス値を環境に合わせて選択します。
 - **自動**：ホワイトバランスを自動調節します。システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切なホワイトバランスに自動設定します。
 - **白熱灯～蛍光灯(ダーク)**：カメラが設置された場所の照明を選択すると、環境に合ったホワイトバランスが設定されます。
- **手動設定**：ホワイトバランスを手動で調節できません。RedおよびBlue利得が調節でき、値が大きいほどその色が強調されます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

露出設定



- **ターゲット利得**：露出補正のためのターゲット利得を設定します。選択したターゲット利得を基準として自動的に露出が補正されます。値が大きいほど全般的に映像が明るくなります。

- ・ **ローカル露出**：逆光などにより生じる人物や被写体の黒つぶれをデジタル処理して明瞭にします。映像に暗過ぎる部分と明る過ぎる部分が同時にある場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明暗コントラストを平均的にする機能です。
- ・ **アンチフリッカー**：カメラが設置された場所の照明が蛍光灯のように交流電源(AC)を使用する場合、照明の周波数と同じ周波数を設定します。周波数の差による画面のちらつき現象を減らすことができます(東日本:50Hz、西日本:60Hz)。
- ・ **スローシャッター**：スローシャッターモードのスピードを設定します。スピードを選択すると、照度が低い場合は電子シャッターのスピードがそのスピードに落ちて、照度が低い時でも明るい映像が得られますが、動きのある被写体はブレ易くなります。カメラモデルによって動作が異なります。詳細な動作方法は、カメラの取扱説明書をお読みください。
- ・ **フォーカスモード**：フォーカス移動を自動／手動／半自動に変更することができます。この機能はモデルによって対応しない場合があります。
- ・ **WDR**：WDR(Wide Dynamic Range、広域補正)を使用するか否かを設定します。WDRを使用する場合、映像に暗すぎるところや明るすぎるところが同時に存在する場合、両エリアとも確認することができます。
- ・ **IRIS**：レンズのアイリスタイプを選択します。
 - DC-IRIS
 - ・ **オフ**：手動絞りレンズが装着されている場合、選択します。
 - ・ **DC IRIS(自動)**：DCタイプ自動アイリスレンズが装着されている場合、選択します。
 - P-IRIS
 - ・ **P-IRIS(自動)**：システムが、カメラが設置された場所の照度を感知して絞りの開放の程度を自動で設定します。
 - ・ **P-IRIS(固定)**：スライドバーを使ってユーザーが絞りの開放の程度を指定します。カメラが設置された場所の照度に適切な値を設定します。
- ・ **Irisコントロールレベル**：レンズ絞りの快方度合いを設定します。レベルが大きいほど明るく見え、レベルが小さいほど暗く見えます。
- ・ **露光制御**：露光制御を設定します。**アンチフリッカー**および**スローシャッター**がすべて**オフ**に設定されている場合のみに対応します。
 - **自動**：システムがカメラの設置されている場所の照度を感知し、適切な速度を自動的に設定します。
 - **手動**：スライドバーを利用してユーザーがスピードを指定します。カメラが設置されている場所の照度に適切な最低速度および最高速度を設定します。(1/30秒～1/8000秒)



カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

Day & Night



- ・ **白黒モード**：白黒モードでは映像を白黒にして、照度の低い場所でも映像をきれいに映すことができます。
 - **オン/オフ**：白黒モードをオン/オフします。
 - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的に白黒モードを設定または解除します。
 - **スケジュール**：白黒モードのスケジュールを設定します。昼間に設定された日付や時間の間に白黒モードが解除され、それ以外には白黒モードが設定されます。
- スケジュール機能に対応していないカメラの場合、その機能は表示されません。
- ・ **IRモード**：IRモードを使用する場合、カメラが赤外線を制御します。照度が高い場所では赤外線を遮断し、照度が低い場所では赤外線遮断を解除してどのような照度環境でも映像を鮮明に録画することができます。
 - **デイモード/ナイトモード**：昼間または夜間モードに設定します。
 - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的にIRモードを使用するか否かを設定します。
 - **スケジュール**：IRモード使用スケジュールを設定しま

す。デイモードに設定された日付・時刻にはIRモードが解除され、それ以外ではIRモードが作動します。

スケジュール機能に対応していないカメラの場合、その機能は表示されません。

- **モード切替**：昼間/夜間モードの切り替え方式を設定します。一般モードでは照度センサに照射される光量を通して昼間、または夜間モードに切り替えます。高級モードでは、照度センサに照射される光量とカメラ映像を分析して、昼間、または夜間モードに切り替えます。
- **感度調整**：感度レベルによって、デイモードまたはナイトモードの変更時点が調節されます。レベル値が高ければ高い照度で、低ければ低い照度でデイモード/ナイトモードが切り替わります。

その他



- **イメージブレ保証**：イメージブレ保証モードを設定します。風などの外部的な要因によってカメラに振動が発生する場合、映像のぶれを緩和してくれます。
- **Video Out**：アナログカメラの映像出力タイプをNTSCまたはPALに選択することができます。
- **ヒーターモード**：ヒーターを使用するかどうかを設定します。オンの場合、カメラの温度がヒーター作動温度より低ければヒーターが作動します。オフの場合、温度に関係なくヒーターは作動しません。

プライバシーマスキング設定

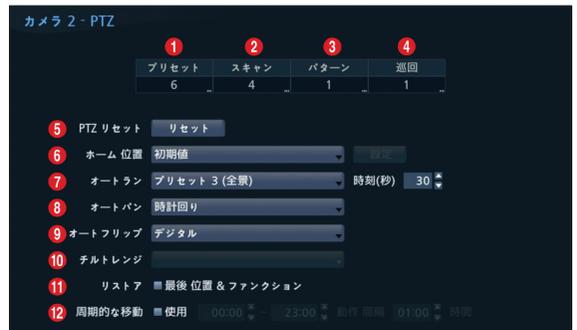


名前を選択すると、設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更することができます。設定されたプライバシーマスキングエリアは、 アイコンを押して個別に削除するか全体を削除します。**プライバシーマスキング設定**を選択すると、エリア設定画面が表示されます。マウスでドラッグしてプライバシーマスキングエリアの大きさを自由に設定することができます。なお、最大16のエリアを追加することができます。



- **編集**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更します。
- **削除**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を削除します。
- **保存**：設定を保存し、エリア設定画面を閉じます。
- **キャンセル**：変更した内容を保存せず、エリア設定画面を閉じます。

PTZ設定



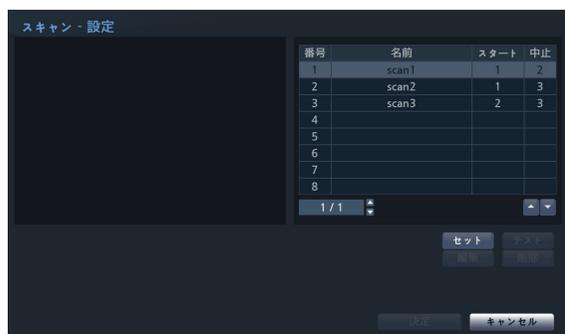
プリセット、スキャン、パターン、ツアーの各項目で表示される数字は、設定された機能の個数です。

- ① **プリセット**：下のボタンを利用して、プリセットの位置を設定します。



- **方向ボタン** (方向キー)：カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
- **拡大** (⊕ ⊖)：映像を拡大または縮小します。
- **フォーカス** (⊙ ⊕)：近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
- **速度**：カメラのパンチルトの速度を設定します。
- **セット**：プリセット番号を選択したあと、プリセットの名前を入力します。現在の位置がそのプリセットの番号および名前として保存されます。
- **移動**：リストからプリセットを選択してボタンをクリックすると、カメラが選択したプリセットの位置に移動します。
- **編集**：プリセット名を変更します。
- **削除**：プリセットを削除します。

- ② **スキャン**：スキャン機能を設定し、予め指定した2つの地点をカメラ移動させることができます。スキャン機能を有効にするためには、プリセットは2つ以上設定されている必要があります。



- **セット**：スキャン機能を設定します。



- **名前**：スキャン名を入力します。
- **スタート/中止**：スキャンを開始/終了するプリセットの位置を選択してください。
- **出力時間 (秒)**：カメラがスキャンをスタートして終了する位置までの時間を設定します。
- **速度/ディレクション**：スキャンの速度および方向を設定します。
- **テスト**：スキャン番号を選択してボタンをクリックすると、スキャン機能をテストします。
- **編集**：スキャン設定を変更します。
- **削除**：スキャンを削除します。

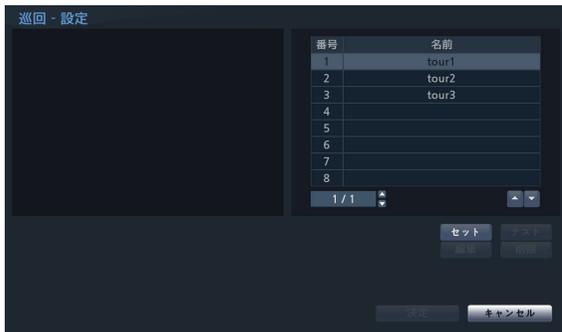
- ③ **パターン**：パターンの機能を設定すると、予め指定されて経路でカメラを移動させることができます。



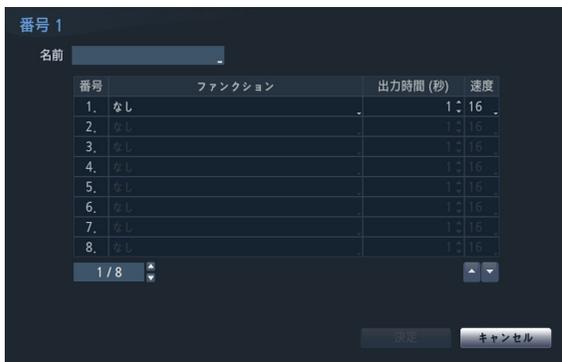
- **設定スタート**：パターン番号を選択したあと、パターンの名前を入力し、**決定**ボタンを押すとカメラの動きが保存されます。方向、拡大、フォーカスボタンを利用し、カメラを動かしたあと、**録画停止**ボタンをクリックすると保存されます。最大2分間の動きを保存することができます。
- **方向ボタン** (方向キー)：カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
- **拡大** (⊕ ⊖)：映像を拡大または縮小します。
- **フォーカス** (⊙ ⊕)：近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
- **速度**：カメラのパンチルトの速度を設定します。
- **テスト**：パターンを選択してボタンをクリックすると、パターン機能をテストします。
- **編集**：パターン設定を変更します。

- ・ **削除**：パターンを削除します。

- 4 **巡回**：ツアー機能を設定し、カメラが複数の機能をすでに指定しておいた順番に遂行するようにできます。



- ・ **セット**：ツアー機能を設定します。



- **名前**：ツアー名を入力します。
- **番号**：実行する機能の順番を表示します。
- **出力時間(秒)**：その機能が維持する時間を設定します。
- **速度**：プリセット動作の速度を設定します。
- ・ **テスト**：ツアーを選択してボタンをクリックすると、ツアー機能をテストします。
- ・ **編集**：ツアー設定を変更します。
- ・ **削除**：ツアーを削除します。

プリセット、スキャン、パターン、ツアー設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているかどうか、確認することができます。

- 5 **PTZリセット**：カメラのパンチルト、または拡大設定を動作以前の状態に戻します。
- 6 **ホーム位置**：カメラのホームポジションを設定します。
 - ・ **初期値**：工場出荷時に設定された初期位置をホーム位置に設定します。

ム位置に設定します。

- ・ **ユーザー定義**：ユーザーが変更した位置をホーム位置に設定します。**設定**を選択し、ホーム位置を変更することができます。
- 7 **オートラン**：設定された時間の間にカメラが制御されないときに実行する機能を設定します。
 - 8 **オートパン**：カメラのパンの方向を設定します。遠隔プログラムでオートパンを実行するとき、設定された方向にパン機能が作動します。
 - 9 **オートフリップ**：カメラが90度以上チルトするとき、物体が反対に見えることを防止するため自動的に映像またはカメラを反転させます。
 - ・ **デジタル**：映像を左右または上下に反転させます。
 - ・ **メカニカル**：カメラを自動でパンまたはチルトします。
 - ・ **オフ**：自動反転機能を解除します。
 - 10 **チルト範囲**：カメラのチルト範囲を設定します。
 - 11 **リストア**：カメラの最後の位置および機能を復帰するか否かを設定します。復帰機能を使用する場合、カメラの再起動時にその直前の位置に移動したり、最後に遂行していた機能を遂行したりします。
 - 12 **周期的な移動**：設定したスケジュール期間の動作周期ごとにPTZカメラを動作します。

ストリーム I



カメラの監視/録画映像の解像度、画質、フレーム数を設定することができます。

- ・ **カメラチャンネル**：カメラごとにストリームを設定することができます。
- ・ **ビットレート状態**：各ストリームビットレート値中に一番高い値が現れます。設定ボタンを押して各チャンネル

の設定割り当てを変更することができます。詳しい内容は第2章 ー 設置 ー カメラ登録を参照ください。

- **カメラチャンネル**：カメラチャンネルで選択されたカメラのビデオプロフィールの設定値を、他のチャンネルのカメラにコピーすることができます。
- ビデオプロフィール**：現在設定されている監視映像の品質を確認し、遠隔ビデオプロフィールの設定を変更することができます。
- 録画ビデオプロフィール**：4つの録画品質から選択して設定することができます。
- ビデオプロフィール：ストリーム1、ストリーム2、ストリーム、カスタム**(録画ビデオプロフィールのみで選択可能)の中の1つを選択することができます。
 - コーデック**：H.264、H.265に対応します。
 - 解像度**：カメラが対応する解像度の中から一つを変更できます。解像度は設定されたビデオプロフィールを考慮して、自動的に最大設定値が制限されます。
 - 画質**：最高画質、高画質、標準画質、低画質、手動の中から一つを選択することができます。画質はそれぞれ設定することができます。
 - VBR/CBR**：CBR、VBRの中から一つを選択することができます。CBRに設定されると伝送されるデータの量が固定されます。一方、VBRに設定されると伝送されるデータ量が映像の動きによって可変的に変動します。
 - ips**：速度は1～30まで設定することができます。最大ipsは設定されたビデオプロフィールを考慮し、自動で最大設定値が制限されます。

ストリーム II



カメラの自動リカバリプロフィール、インテリジェントコーデック、VATを設定することができます。

- 自動リカバリプロフィール**：自動リカバリで使うビデオプロフィールを選択します。
- インテリジェントコーデック**：知能型コーデックを使用してビットレートを下げます。



- ・本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。
- ・インテリジェントコーデック設定時、映像分析機能の開始が最長10秒まで遅くなることがあります。

- VAT設定**：VAT項目を選択すると、映像の転送および録画時にVAT (Video Adaptive Transmission) 機能を使用できます。



- ・カメラのVAT (Video Adaptive Transmission) 機能が有効になっている場合連動した画像解析装置が正常に動作しない場合があります。
- ・映像解析の精度を高めるためには、連動するカメラのVAT機能を使用していないことをお勧めします。
- ・本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。

**モーション連動バンド幅制御 (VAT) 機能は画面上の動きが一定期間ないとfps (伝送フレーム数/秒) を下げてネットワークの負荷を減らしストレージ容量を節約する機能です。ユーザーは“モーション無視インターバル”を調整してモーション連動バンド幅制御 (VAT) 機能の周期を変更することができます。モーション連動バンド幅制御 (VAT) 機能が作動している間にモーションが感知されると以前のfpsにすぐ復旧されます。



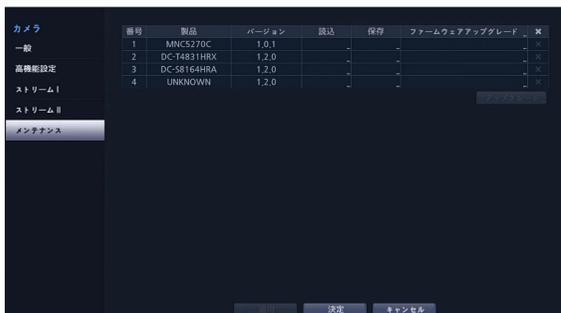
- ・ **感度**：昼間と夜間のそれぞれに対してモーション感知に対する感度を設定します。値が大きいほどモーションをより敏感に感知します。
- ・ **モーション無視インターバル**：モーション無視インターバルを設定します。モーション無視インターバルの間モーションが感知されない場合、モーション無視インターバル以降モーションが感知されるまで、下記で設定するフレームレートで映像を配信および録画します。
- ・ **モード**：対応しているカメラでは、カメラの解像度モード16:9/4:3を選択できます(設定変更するとストリームで設定可能な解像度に変更・リセットされます)。

メンテナンス

各ネットワークカメラの**ファームウェアアップグレード**を選択すると、USB検索ウィンドウが表示されます。

USBに接続されているフラッシュメモリまたはHDDからアップグレードパッケージファイルを選択してください。

各々のカメラのアップグレードパッケージファイルを選択して適用ボタンを押すと、カメラをアップグレードできます。

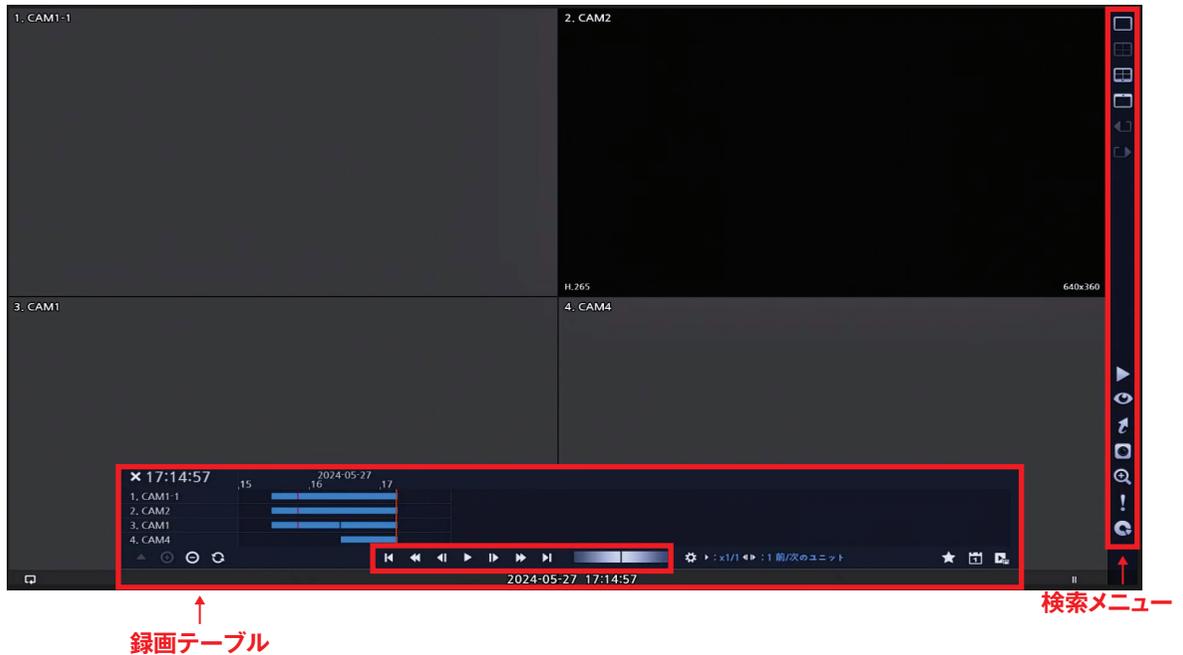


- ・ アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**第6章－付録－エラーコードの種類**を参照ください。
- ・ アップグレードが終了したら、ネットワークカメラは再起動され自動的に接続されます。

第4章 検索

タイムラプス検索

リアルタイム監視モードで**検索モードアイコン**  を選択し、**タイムラプス検索**、または**イベントログ検索モード**を選択して実行することができます。



- 1 マウスを**検索メニュー**や**録画テーブル**のエリアに移動すると、メニューや録画テーブルが表示されます。
- 2 カメラ画面上でマウスを右クリックすると**コンテキストメニュー**が表示されます。
- 3 各項目をマウスで選択して使うことができます。
- 4 **検索メニュー**、**録画テーブル**、**コンテキストメニュー**の詳細は、次の項目で説明しています。
 - 画面中央にコーデック(CODEC)デコーダーメモリが足りない場合「OUT OF CODEC MEMORY」OSDが表示されます。解決方法は下記の通りです。
 - 1.該当ビデオパネルを選択して単一画面に切り替えます。
 - 2.または、画面のレイアウトをカメラが少ないチャンネルのレイアウトに変更し、再生するチャンネルを選択してグループ編集機能でカメラの位置を変更します。
 - 3.または監視モードに変更した後、再度検索モードにします。

検索メニュー



1 レイアウト

画面のレイアウトを切り替えます。

2 ディスプレー

- ・ **OSD オン/オフ**：OSD機能を有効化、または無効化します。
- ・ **比率維持**：カメラから出力される映像の縦横比を維持するかどうかを選択します。

3 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

4 検索モード

タイムラプス検索/イベントログ検索を変更して検索します。

5 監視モード

リアルタイム監視モードに切り替わります。

6 移動

日付と時間で録画映像を検索することができます。移動する日付/時間を設定して移動を押すと、検索にヒットした録画映像に移動します。右側の  (ブックマーク) ボタンを選択すると、保存されたブックマークの位置に移動することができます。

7 カメラ

カメラチャンネルを選択し、そのチャンネルを単一画面に切り替えます。

8 拡大

映像を拡大することができます。

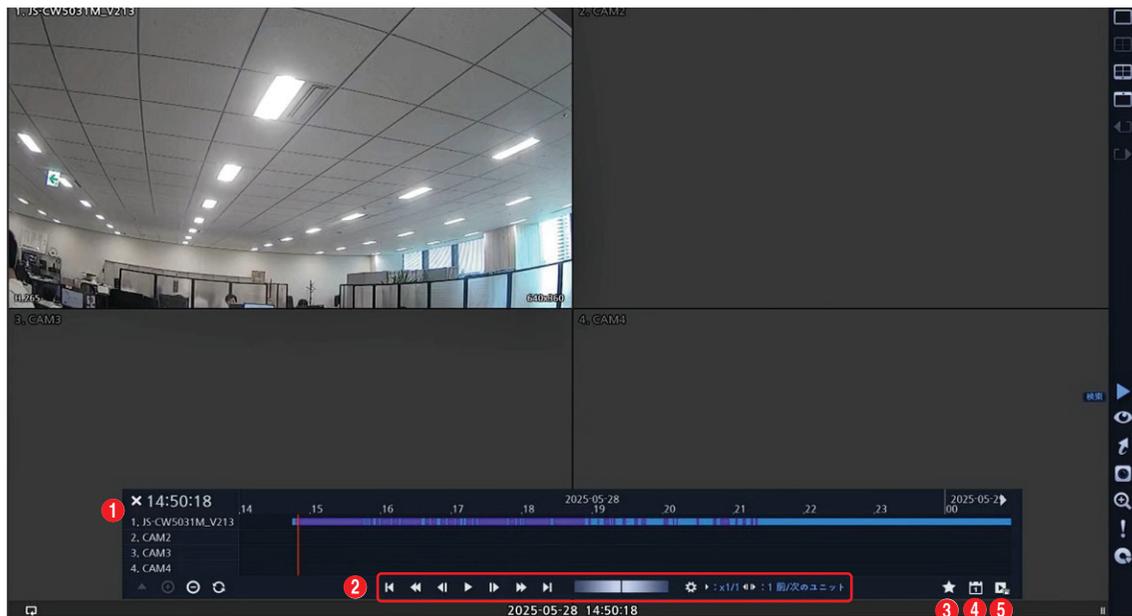
9 緊急録画

緊急録画機能を使用できます。(設定で、緊急録画使用を有効にしている場合)

10 データベース

- ・ **録画**：本装置の保存デバイスに録画されたデータを検索することができます。
- ・ **外部**：他装置で使用していたディスクを接続すると、録画されているデータを検索することができます。

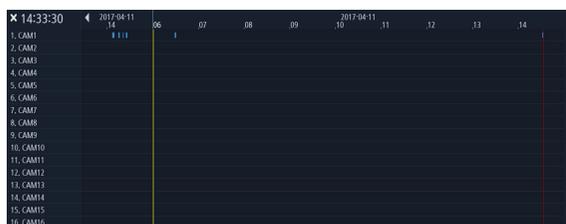
タイムラプス検索メニュー



| | | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|--------|---|---------|
| ① | 録画テーブル | ② | 再生ボタン | ③ | ブックマーク | ④ | カレンダー検索 |
| ⑤ | バックアップ | | | | | | |

① 録画テーブル

現在の画面に表示されるチャンネルの録画情報を表します。



検索ウィンドウ上段に録画された日付/時間情報が表示されます。録画テーブルの灰色の縦の線は現在の再生位置を表します。マウスで再生位置を自由に移動させることができます。



- 録画テーブルで後方に表示されるほど、最新のデータです。
- システム時間を過去の時間に変更して録画すると、同じ時間帯に1つ以上の映像が存在することがあります。重なる時間帯は黄色い線で区分された録画テーブルに表示されます。

タイムラプス検索ウィンドウの左下の▲または▼を選択すると検索ウィンドウの大きさが変更され、全体チャンネルまたは最小限のチャンネルだけが確認できます。最小の大きさのタイムラプス検索ウィンドウでは、スクロールを利用して表示されていない他のチャンネルの情報まで確認できます。

⊕ (拡大表示) を選択するとより狭い時間範囲を表示することができ、⊖ (縮小表示) を選択するとより広い時間範囲を一つの画面で見ることができます。

画面に表示される日付や時間より以前または以後の録画データが存在する場合、日付/時間情報を表示するウィンドウの両側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーをマウスでクリックしてドラッグし、選択した録画データの情報を確認することができます。

🔄 (リロード)を選択するたびに、最新にアップデートされた録画情報が確認できます。



録画データの棒グラフの色

| | |
|----|---------------------|
| 青色 | タイムラプス録画 |
| 紫色 | イベント録画 |
| 黄色 | プライベート録画 |
| 赤色 | 緊急録画 |
| 緑色 | デバイス接続の一時中断による異常な録画 |

2 再生ボタン

映像を再生・探索することができます。

・ ジョグシャトル

再生方法および速度を調節することができます。

ジョグシャトルの縦の表示線は、現在の再生方向や速度を表します。縦の表示線が中央から右方向にあれば映像を正方向に再生し、左側にあると逆方向に再生します。縦の表示線が中央から遠くなるほど再生速度が速くなります。縦の表示線をクリックし、ジョグシャトルをマウスでドラッグすることで映像の再生速度を調節することができます。マウスボタンを離すと縦の表示線が中央に戻り、映像再生が止まります。

3 ブックマーク



・ **現在位置追加**を選択すると、現在の再生位置をブックマークに登録します。タイトルを選択して登録したブックマークの名前を入力します。



ブックマークは12件まで保存できます。

- ・ ブックマーク設定ウィンドウで特定のブックマークを選択し、登録された再生位置に移動することができます。
- ・ ブックマークリストを選択し、✕アイコンを選択してそのブックマークを削除することができます。

4 カレンダー検索



特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態が表示されます。選択された日付は黒い背景にオレンジ色で表示されます。

5 バックアップ

- ・ **ツータッチクリップコピー**：任意の2つの位置を指定して両位置間のデータをコピーすることができます。バックアップ設定ウィンドウが表示されます。指定した2つの位置の範囲が開始と終了時刻に自動設定されます。
- ・ **バックアップ**：バックアップの設定ウィンドウが表示されます。開始と終了時刻をデータの最初や最後に決めることができます。



- ・ **チャンネル**：カメラの映像を保存するチャンネルを選択することができます。
- ・ **パスワード**：保存したビデオクリップを再生するとき、パスワードを使用するか否かを選択し使用する場合はパスワードを設定してください。

- **メディア選択**：保存するメディアを選択することができません。
- **ファイル名**：保存するファイルの名前を設定してください。最大63文字まで入力できます。

ファイル名には、\、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの文字は使用できません。

- **JSS-Playerを含む**：当該録画映像でJSS-Playerと共に、.exeファイルに保存して別途のJSS-Playerがなくても映像を再生することができます。
- **サイト名使用**：バックアップのファイル名にサイト情報を追加します。

バックアップのファイル名に場所情報を追加する場合、場所情報に使用された\、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの特殊文字は_に代替されます。

開始を押すと指定した保存範囲のデータ量が計算されて表示されます。容量を確認し、**続ける**を選択するとバックアップが始まります。バックアップが始まると、**キャンセル**を押してバックアップを取り消すことができ、**閉じる**を押して画面を消すことができます。**閉じる**を選択してもバックアップは続けられ、コピーが完了するとこれを確認するウィンドウが表示されます。

- ワンタッチバックアップモード**では保存されるドライブのメディア容量に合わせて保存範囲を自動的に設定します。選択したメディアに空き容量が足りない場合、空いている容量だけバックアップができます。
- NVRは実際のディスク容量と関係なく30GBと表示し、バックアップのためのファイルサイズは30GB以下に制限されます。
- 2GBを超える映像区間をバックアップする場合、システムが2GB単位に分けて保存します。
- バックアップで作成したファイルは、WindowsのPCで、すぐに再生することができます。再生方法に対する詳しい説明はJSS遠隔監視システムの取扱説明書を参照ください。
- USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。
- USB HDDはFAT32フォーマットのプライマリ・パーティションのみに対応します。



USBバックアップの途中でUSBケーブルを取り外したり、USBメディアの電源を切ったりしないでください。USBバックアップ中にケーブルが抜けたりメディアの電源が切れた場合、NVRシステムが誤作動を起こしたり、外付けUSBメディアのファイルシステムが損傷し再びバックアップを試みたときバックアップができないというエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージを表示させないためには、NVRを再起動する必要があります。USBメディアのファイルシステムが損傷していた場合は、NVRを再起動してバックアップを試みてもこのエラーメッセージは消えずに表示されます。この場合はメディアをもう一度フォーマットするか、復元プログラムを利用して損傷したUSBメディアのファイルシステムを修正しなければなりません。

コンテキストメニュー

カメラ画面でマウスの右クリックでコンテキストメニューを実行することができます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **グループ編集**：グループ編集では、分割画面上でカメラの位置が変更できます。

イベントログ検索

メニューで**検索モード**>**イベントログ検索**を選択すると、イベントログ検索ウィンドウが表示されます。



- 特定のイベントを選択すると、連動録画が行われるチャンネルの選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態に表示されます。画面の真ん中の再生ボタンで映像を再生でき、画面上で連動カメラを変更すれば他のカメラを再生することができます。
- イベントログの検索ウィンドウの上にある**始め**や**終わり**の選択を解除し、検索する期間を直接変更することができます。

- 開始で始めを選択すると保存されたデータの中で、最初の時刻に設定され、終了で終わりを選択すると保存されたデータの中で最後の時刻に設定されます。
- ・ 開始または終了時間をユーザーが指定する場合には、**時間重複検査**を選択/解除することができます。
- システム時間が変更されユーザーが指定した開始時間または終了時間が2つ以上ある場合、これらから1つを選ばなければなりません。選択した開始と終了時間帯に発生したイベントだけが検索されます。**時間重複検査**が選択されていない場合は、全ての開始と終了時間帯に発生したイベントを検索します。
- ・ 緊急録画、録画エラー、ディスクフル警告、ディスクエラー、ディスク温度、ディスクS.M.A.R.T.、ディスク構成変更などのシステムイベントを検索するときイベントフィルターを選択して選定することができます。

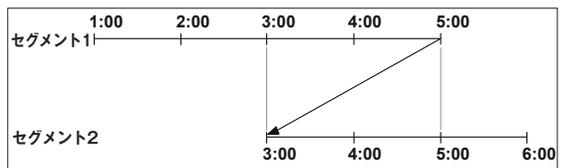
設置フィルター

- ・ **モーション**：モーション感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
- ・ **映像信号なし**：映像信号なしイベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- ・ **トリップゾーン**：トリップゾーンイベントを検索するチャンネルを選択します。
- ・ **タンパーリング**：タンパーリングイベントを検索するチャンネルを選択します。
- ・ **録画チャンネル**：イベントを検索する録画チャンネルを選択します。
- ・ **録画失敗**：録画失敗イベントを検索するチャンネルを選択します。
- 設定された録画チャンネルのうちで少なくとも1つの連動録画が発生したイベントだけを検索します。どのカメラも選択しなければ、連動録画カメラが1つもないイベントだけを検索します。

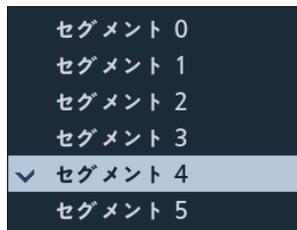
重複した時間の映像検索

ユーザーがシステム時間を過去に戻して録画した場合、同じ時間帯に1つ以上の録画映像が存在する時間重複現象が発生する可能性があります。この場合、重複した時間の録画映像は、セグメントを区分して検索する必要があります。

例えば1時から5時までの録画映像が存在する場合、システムユーザーがシステム時間を5時から3時に変更したあと6時まで録画すると、3時から5時までの録画映像が2つ存在することになります。このとき、3時から5時までの時間には2つのセグメントが発生します。



重複した時間の録画映像を検索するとき、特定の時刻または時間範囲を選択することができます。もし時間が重複した区間である3時から5時までの区間で**日時指定検索**などの検索メニューを利用し、ある特定の検索時間を指定する場合、例えば**4時**の録画映像を検索したいなら重複した2つのセグメントの中からどのセグメントの**4時**であるかを選択しなければなりません。



もし時間が重複した3時～5時の区間で**イベントログ検索**を利用して検索時間範囲を指定する場合、例えば**4時～5時**の間の録画映像を検索したいなら重複する2つの検索開始と終了の時間の中から1つを選択しなければなりません。選択可能な検索範囲は下記のとおりです。

- ・ セグメント1の4時～セグメント1の5時
- ・ セグメント1の4時～セグメント2の5時
- ・ セグメント2の4時～セグメント2の5時



第5章—付録

システムログの種類

| | |
|-----------|---------------------|
| システムスタート | 緊急録画スタート |
| システム終了 | 緊急録画終了 |
| システム再起動 | 全ての録画データ削除 |
| アップグレード成功 | ディスク削除 |
| アップグレード失敗 | ディスクフォーマット |
| 電源エラー | ディスクフル |
| スケジュールオン | ディスク構成変更 |
| スケジュールオフ | ディスク[番号]:「シリアルナンバー」 |
| 時間変更 | ディスク[番号]:削除されました |
| 標準時間帯変更 | 自動削除 |
| タイムサーバー | 検索開始 |
| 時間同期化失敗 | 検索終了 |
| ディスクエラー | バックアップスタート |
| ログイン | バックアップ終了 |
| ログアウト | バックアップ取消 |
| 設定スタート | バックアップ失敗 |
| 設定終了 | バックアップユーザー |
| 遠隔設定変更 | バックアップスタート |
| 遠隔設定失敗 | バックアップ終了 |
| 設定読込 | バックアップ映像再生時間 |
| 設定読込失敗 | バックアップカメラ |
| 設定保存 | コールバック失敗 |
| 設定保存失敗 | ファクトリーリセット |
| 設定保存取消 | |
| | |

エラーコードの種類

| アップグレードエラーコード | | | |
|---------------|-----------------|-----|-------------------------|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | 原因不明なエラー | 301 | 遠隔ネットワークエラー |
| 1 | ファイルバージョンが合致しない | 302 | 遠隔アップグレードの権限がない |
| 2 | OSバージョンが合致しない | 303 | 遠隔アップグレードファイルの保存失敗 |
| 3 | SWバージョンが合致しない | 304 | ユーザーが遠隔アップグレードをキャンセル |
| 4 | カーネルバージョンが合致しない | 400 | USBメモリでマウントエラー |
| 100 | メモリマウントエラー | 401 | USBメモリでファイルロードエラー |
| 101 | ファイルが見つからない | 402 | USBメモリでファイルコピーエラー |
| 102 | 圧縮ファイルの解凍エラー | 403 | USBメモリが接続されていない |
| 103 | リロ(LILO)実行失敗 | 404 | USBメモリ使用中 |
| 104 | 再起動失敗 | 405 | サポートされないファイルシステム |
| 105 | 正しくないファイル | 500 | バックアップ中であるためアップグレードできない |
| 300 | 遠隔接続失敗 | | |

| バックアップエラーコード | | | |
|--------------|--------------|----|-----------------------|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | 原因不明なエラー | 12 | ディスクエラー発生 |
| 1 | デバイスエラー | 13 | JSSプレイヤーの実行ファイルなし |
| 2 | デバイス接続失敗 | 14 | JSSプレイヤーの実行ファイルオープン失敗 |
| 3 | CDメディアなし | 15 | JSSプレイヤーの実行ファイル保存失敗 |
| 4 | 間違ったメディア | 16 | イメージ作成失敗 |
| 5 | 同じ名前のファイルがある | 17 | コピー失敗 |
| 6 | 残容量不足 | 18 | コピー時間オーバー |
| 7 | 臨時ファイル作成失敗 | 19 | デバイス接続失敗 |
| 8 | ディスクオープン失敗 | 20 | デバイス使用中 |
| 9 | ディスクフォーマット失敗 | 21 | サポートされないファイルシステム |
| 10 | データベースが変更される | 22 | データ検証失敗 |
| 11 | 保存失敗 | 23 | 範囲に保存されたデータがありません。 |

| ネットワークエラーコード | | | |
|--------------|--------------------------|-----|-------------------------------|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | エラーの原因が分からない | 20 | ユーザーによって接続がキャンセルされる |
| 1 | 正常なログアウト | 21 | ネットワークデバイスホストの応答なし |
| 2 | 全チャンネルで使用中のため接続が拒否される | 22 | ネットワーク上にノイズ信号が多い |
| 3 | 間違った製品のバージョン情報 | 23 | 転送キューがいっぱい |
| 4 | 間違ったユーザー名あるいはパスワード | 24 | 間違ったOEM情報 |
| 5 | 管理者が接続を強制的に終了させる | 25 | 検索権限なし |
| 6 | タイムアウト | 26 | ポートがすでに使用中 |
| 7 | ネットワークデバイスが終了 | 27 | SSL接続失敗 |
| 8 | 使用可能なポートがないため接続できない | 28 | ネットワークタイムアウト |
| 9 | サーバが作動していないため接続できない | 29 | ネットワークデバイスホストタイムアウト |
| 11 | ネットワーク使用不可 | 30 | ネットワークデバイスホストがTCPによるRTPに対応しない |
| 12 | ネットワークエリアが違うためアクセス不可 | 31 | ソケットエラー発生 |
| 13 | 接続タイムアウト | 100 | 不明なコーデック |
| 14 | ネットワークデバイスから強制的に接続が解除される | 101 | JPEGコーデック(対応しない) |
| 15 | ネットワークデバイスホストが終了 | 103 | MPEG4コーデック(対応しない) |
| 16 | ネットワークデバイスホストでルーティングできない | 400 | サポートされない解像度 |
| 17 | 接続が中断される | -1 | 正常な接続 |

故障時の確認事項

| 不具合 | 確認事項 |
|---|---|
| <p>本体の電源が入りません。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 電源コードの接続を確認してください。 コンセントの電源を確認してください。 |
| <p>リアルタイム映像が映りません。</p> | <ul style="list-style-type: none"> カメラビデオケーブルとの接続を確認してください。 モニタビデオケーブルとの接続を確認してください。 カメラの電源を確認してください。 カメラレンズの取り付け状態を確認してください。 |
| <p>NVRが録画中に止まりました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> カメラのハードディスクがフルになっている可能性があります。録画された映像を削除して録画エリアを確保してください。 NVRを上書きモードに設定してください。詳しい内容は第3章－設定－システム設定－一般を参照ください。 |
| <p>アイコンが画面に表示されてい ますが録画がされません。</p> | <p>プライベート設定がされている場合、イベントが発生せず、録画されていない時には アイコンと アイコンが表示されます。</p> <p>イベントが発生して録画されるときは、アイコンと アイコンが表示されます。</p> <p>詳しい内容は第3章－設定－録画設定－スケジュールを参照ください。</p> |
| <p>システムアップグレードの途中に NVRが再起動を繰り返し作業を完了 しません。</p> | <p>アップデートしているファイルのバージョンを確認してください。現在装置にインストールされているバージョンより下のバージョンにアップアップグレードしている場合、装置にあるファクトリーリセットスイッチを押してファクトリーリセットを先に行わなければなりません。ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したNVRのすべての設定値が失われます。ファクトリーリセットに関する内容は第1章－製品紹介－各部分の名称および機能－後面パネルの接続－ファクトリーリセットを参照ください。</p> |

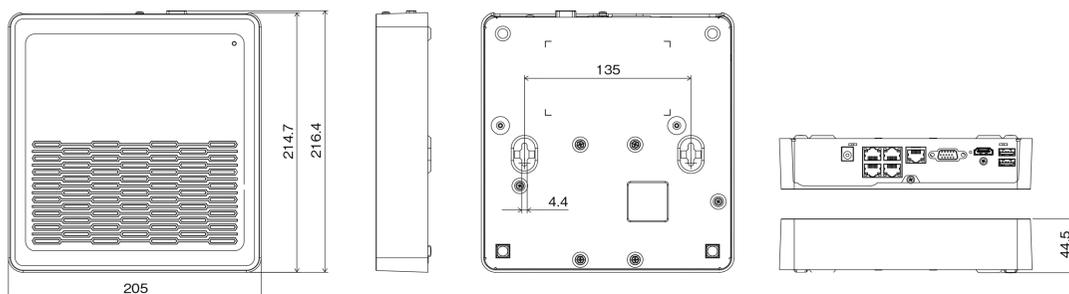
製品の仕様

PF-RW104 本製品の仕様は、製品改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

| 仕様 | | |
|----------|---------------------|---|
| ビデオ | ビデオ入力 | 4ch |
| | 対応カメラプロトコル | JSS |
| | ビデオ出力 | HDMI : × 1、VGA : × 1 |
| | 最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔) | 60Mbps (20+20+20) |
| | ディスプレイ解像度 | 1920 × 1200、1920 × 1080、1680 × 1050、1600 × 1200 |
| | 最大ディスプレイ速度 | 最大 120ips |
| | 最大ディスプレイ処理能力 | 20Mbps、120ips@8MP |
| 録画 | 最大処理能力 | 20Mbps、120ips@8MP |
| | 最大録画解像度 | 8MP (ネットワークカメラに依る) |
| | 画像圧縮方式 | H.265、H.264 |
| | 録画モード | タイムラプス、イベント、プライベート、パニック |
| 再生 | 性能 | 4ch フル HD synchronous playback |
| | 検索モード | タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ |
| 保存 | HDD | 内蔵 : 4TB |
| | バックアップ | USB 記録装置 (USB HDD、USB メモリなど) |
| | RAID | — |
| ネットワーク | 本体内蔵 PoE カメラポート | Fast Ethernet (VIDEO IN) × 4 |
| | 外部 Video ポート | — |
| | クライアント接続ポート | Fast Ethernet (Client) × 1 |
| | 転送速度 | 20Mbps / 50Mbps (BRP Mode) |
| | PoE 電源供給能力 | PoE (IEEE 802.3at class 4) 4ports、35W |
| | イベントアラーム | Email (添付ファイル (.cbf、.mp4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)、Push (モバイルソフトウェア)、HTTP |
| インターフェース | オーディオ入力 / 出力 | — |
| | アラーム入力 | — |
| | アラーム出力 | — |
| | アラームリセット入力 | — |
| | 内蔵ブザー | — |
| | シリアルインターフェース | — |
| | USB 端子 | USB 2.0 × 2 |
| 一般 | 外形寸法 | 約 205 (幅) × 44.5 (高) × 214.7 (奥) mm ※突起物含まず |
| | 質量 | 約 1,200g (HDD1 個装着時) |
| | 使用温度範囲 | 0 ~ 40°C (湿度 90% 未満 ※結露しないこと) |
| | 電源 / 消費電力 | DC48V・1A 最大 48W |
| | 同梱物 | NVR本体×1、電源ケーブル / 電源アダプタ×1、安全上の注意事項×1、マウス×1、保証書 |

外形寸法図

単位 : mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

- 万一故障が発生した場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番（5MP対応PoE給電方式 4ch
ネットワークビデオレコーダ【PF-RW104】）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

株式会社 ジャパン・セキュリティシステム

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング南館 11階

www.js-sys.com/

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変えられる場合があります。

ご購入元メモ欄